

意識の流れ あなたに語り掛けましょう

第1巻

意識の流れ あなたに語り掛けましょう

田池留吉

意識の転回、自己確立・独立独歩、次元移行一路

心から喜ぶことを知りなさい。喜びはパワー、田池留吉・アルバートの世界。健康・平和・幸せへ。

怒りを鎮めなさい。怒りは闇のパワー。病気・破壊・不幸へ。

心の向け先は、田池留吉・アルバートの世界のみ。向け先を間違えばすべて闇、瞑想を通して実証してみてください。

最後は瞑想です。そして、瞑想の最後は田池留吉を思い、心の針をぴったりと合わせることです。欲で瞑想をしてはなりません。瞑想は修行でもありません。楽しんで瞑想を続けてください。

愛

はじめに、愛がありました。

意識は愛、宇宙は愛、母親は愛です。

私は愛、あなたも愛、一つです。

生も、死も、愛の中での現象です。

愛は喜び、愛は温もり、愛はパワーです。

人間は、愛から出て愛に帰る存在です。

愛なき宇宙は暗黒、愛なき人生は暗闇です。

意識の転回、自己確立・独立独歩、次元移行は愛に帰る道です。

人々よ、目覚めて愛に帰りましょう。

己一番、己が偉いということがようやく、それも20年以上学んできて、分かってきた人が、12月のセミナー後、ぽつぽつですが出てくるようになって嬉しく思っています。異口同音に、何も分かっていませんでした、一からスタートですと言っていました。

さて、あなたはどうでしょうか。己一番、己偉しと思っている人は、絶対に、田池留吉・アルバートに心を向ける、心を合わせるなんてとてもできません。我は正しい、素晴らしい、間違っていないと、怒り狂い、戦い、破壊し、苦しみ喘ぐ人生に終始、死後はもっともっと、筆舌に尽くしがたいほどの世界に。喜び、温もり、幸せの世界なんて夢のまた夢。

いわゆる神や仏や霊能者、宇宙のパワーなどに心を向けてきた人は、急いで正しい学びの手順に従って学びを進めてください。それも、第6回UTA会の日までに。自己選択・自己責任ですよ、心してください。

私は、決して去る者は追いません、来る者は拒みません。しかし、私と欲は絶対に合いませんこと、肝に銘じておいてください。

私は、ずっと、これからも、次元移行に向かって真っ直ぐに進んでいきます。ずっとともに進んでいこうと**決意の表明**をした人を待っています。一人でも多くの人が手を挙げるのを今か今かと待っています。

瞑想をできるだけ毎日続けてください。頭でいくら考えても、想像をいくらたくましくしても、分かったような文章が書けても、学びの話が上手にできても空しいだけです。

体が不調になったり、生活や、仕事などに不都合なことが起こるとあわてて瞑想をする方がいますが無駄でしょう。止めた方がよろしいでしょう。

ただひたすらに、田池留吉・アルバートを思う瞑想を続けていくだけ。睡眠や、食事などと同じに毎日瞑想をしてください。それも一時間瞑想を。やった方とやらない方の結果ははっきり出てきます。

己偉い方、他力信仰やパワーに現を抜かしてきた方、それこそ命懸けでやらないといけませんよ。

重々承知と思いますが、正しい瞑想の手順に従ってください。ゆめゆめ欲で瞑想はしないように心掛けてください。

正しい**瞑想**をひたすらしていきましょう。

最後は瞑想、瞑想の最後は田池留吉・アルバートを思う、心でその世界を感じ、知っていく。

瞑想を続けていない人は、この学びをしているとは言えません。人生の目的も、人間の本質も、転生・生死の意味も何も分かっていません。分かるというのは、心で分かる、確信できるという喜びを心で知っていくことです。

己偉い人、特別が好きな人、暖衣飽食、醉生夢死、肉、肉の生活にどっぷりの人は、正しい瞑想を続けることはできないでしょ

う。

瞑想、そして、死後の自分と語る、死後の自分を知る。

私、田池留吉は、肉の田池留吉は大変愚かでしようが、彼を使って皆さん方のお手伝いをさせていただいてきました。皆さん方が意識の流れに目覚められるようにお手伝いをさせていただいてきました。ありがとうございました。私には、感謝と喜びしかありません。

私は、ただ、肉の田池留吉が死ぬまで元気で、自分の仕事を私とともに遂行していってくれるものと確信しています。私は、肉があってもなくても全く何も変わりません。その私を、どんどん感じ、そして知っていってください。それが、あなたの転生の本当の意味です。どうか、転生の意味も分からずに死を迎えることだけはと思っています。

『意識の流れ 増補改訂版』『続意識の流れ 改訂版』は^{そら}諳じる位読んでいる、そして、セミナーにはできるだけ参加している方は、ただただ、

正しい瞑想三昧、ホームページ「那人、田池留吉」熟読玩味あるのみ。レベルアップを待っています。

死後の自分と語るということは、死後の自分を想像したり、単にその波動を感じるだけではまだまだです。対話をやってください。それができないということは、学びの進度が低く、自分をほとんど知らないということになります。

死後の自分に聞いてみてください。「あなたは、あなたの心を田池留吉に向けていますか。その波動を感じていますか。あなたは、今も、田池留吉のメッセージを受けていますか」と。「はい、今も、肉を持っていた時と同じように続けています」という交信をしていない方は、どんなに素晴らしい文言を並べようとも、どんなに立派な業績を残し、絶大なる賞賛を得ていようとも、所詮は心は闇、闇の放射塔、さらに、地獄から出て地獄に帰る転生を繰り返すことになります。

苦しんでいる人は、闇の放射塔、人を救うどころか闇のエネルギーを放射している。とにかく、苦しんでいる人は、自分自身に冷たい、自分自身が温もり、喜びのエネルギーだということに全く気が付いていない。本当の自分を知らない。苦しんでいる訳が分からないから、周りに責任を転嫁し、相手を変えよう、または、神仏なるものに祈願する。ますます苦しみの淵に沈み込んでいくことになります。自己選択・自己責任、選択が間違っているから苦しんでいるのです。では、どうすればいいかお分かりですね。素直に、信じて、正しい瞑想を正しくやっていけばいいだけです。

死後の自分の状態が、今の自分の状態です。死後の自分の状態が分からない人は、今の自分の状態が分からないということになります。死後の自分と交信できるように努めてください。待っています。

あなたは自己供養をしていますか。自己供養とは、その名の通り自分を供養することです。自分の心をしっかりと見つめ、自分の出すエネルギーをしっかりと感じ、そのエネルギーを自分の中の優しさ、温もりで包んでいくことです。

自分が愛であることが、心で本当に分かってくるのは、自己供養を重ねて、重ねて、重ねていけば、ということです。自己供養なしに愛など分かるはずはありません。自分など分かるはずはありません。しかし、肉を持った意識達は、それが分からずにきたから、本当に苦しみ喘いでいます。

偽物の愛を貪欲に求め、その中で苦しみ続けているのです。自分を形あるものとしてとらえる限り、やはり偽物の愛を求める心、偽物の温もりを求める心を拭い去ることはできません。自己供養、これこそ、本当にすべての意識達がしていかなければならない作業です。

「私は、自己供養をしていません。私は、自己供養などできません」など言わないでください。しかし、そんな思いが、私の意識の世界に伝わってきています。

今日は建国記念の日、庭は銀世界、超久し振りに「雪やこんこ
あられ
霰やこんこ…」と口ずさむ。アマテラスを思う、喜び。意識の流れは予定通り、順調。

学びの人々、もっと素直に自分自身と向かい合っていませんか。もちろん、自己選択・自己責任、去る者は追わず来る者は拒まずです。核はますますアップ、その周りも。しかし、…。

苦しむのは止めにしませんか。自分の心が見えるようになって

くればその原因がすべて自分の心の中にある、自己供養をほとんどしていないことに気が付くはずです。

私は間違ってなんかいない、自分が苦しんでいるのは相手が悪いからだなんて言わないでください。このような方は、いつも振り出しに戻って一からやり直していくようにしましょう。もっと自分の心の温もりを信じましょう、指針に従って実践に努めましょう。

自分の死後、そして、その後が分かってこなかったら、真実の世界は見えてきませんよ。

あなたは、肉、肉の人生で終わる積もりですか。それが、あなたが望んだ人生でしたか。「あなたは永遠に存在するエネルギー、愛ですよ」と私は伝え続けていきます。

あなたの心の中のアマテラスに語りかけていますか。私達は、アマテラスの目覚めを今か今かと待っています。自分は学びを進めてきたと思っている方は、アマテラスをもっともっと供養してください。そして、アマテラスの大いなる喜びをと、学びを更に進めていってください。

自分の心をしっかり見なさい。自分がずっと間違ったエネルギーを垂れ流してきた間違いに気付きなさい。自己供養を真剣に真面目にやらない者は、人間関係、仕事、病気等々で苦しみ悩むことになります。自己選択・自己責任、助けてください、救ってくださいでは一步も前へ進めません。幸せになれません。

何のために生まれてきたのですか。何をするために生まれてき

たのですか。肉のことは程々にしましょう。自分の心を見ていな
い者は、我は正しい、我は一番、我は神なりと嘯き、真っ暗なエ
ネルギーを放射していることに全く気付くことができません。

あなたは、一体、本当は何者ですか。それさえも分からずにつて
きてきた、存在してきたのが地球人類です。あなたはどうでしょ
うか。私は正しい、間違っていない、立派、そして、清く美しく、
優しい人間なんて嘯くのは止めにしましょう。

UTAブック発行の『意識の流れ』で述べたことは、すべて、
これから証されていきます。心の準備をしっかりしておきなさい。

**田池留吉の意識の世界は、正直で素直な世界で
す。**どうぞ、あなたも、正直に素直に田池留吉を思ってください。これ以外にあなたがしなければならない仕事は何もありません。後は、程々でいいのです。田池留吉を思うことが、喜び、嬉しい、ありがとう、幸せとなってくれば、肉のことは整ってきます。皆さん方は、あまりにも無知で、欲が深く、己が偉すぎるのです。愛なんて、全く分かっていません。神の愛、慈愛の愛、人類愛の愛、祖国愛の愛などの実態、お分かりでしょうか。本物の愛との違いを知っていますか。

私は本物の愛への道をお伝えしています。だから、欲と私は絶対に合いません。偶像崇拜、他力・現世利益などを求めてきても、空しく徒労に終わるだけです。

田池留吉の意識は愛です。私の名前とか、肉にとらわれないでください。私の肉は、開祖でも、教祖でも、最高の指導者でもありません。ただ、姿、形は、愚かな一老人に過ぎません。

皆さん方の頂点に立とうとか、皆さん方を思うままに操り、支配しようとか、ましてや、大きな団体を作り財をなし、名を残すなんて、肉はいくら愚かとはいえ、これほどの愚行は絶対に思いもしません。

自分を救うのも、自分を幸せにするのも、自分で。自己選択・自己責任です。私の指針に従って、正直に、素直に実践していくば、愛とは何か自ずと分かってきます。正しい瞑想を続けていくば、どなたでも分かってきます。正しい瞑想ですよ、頭では絶対に分かりません。

みなさん方は、はじめから幸せでした。ただ、本当の自分を見失い、本物の温もりを捨て去り、暖衣飽食・酔生夢死の転生を何千、何万、何億の年月、繰り返してきたのです。何の供養もせずに、いたずらに時を過ごし、今世、ようやくにして肉を持つことができたのです。

真実の愛に目覚めてください。目覚めていけばいくほど、愛はますます流れ、大いなる仕事をなしていきます。**田池留吉を思えばいいのです。思うだけでいいのです。**いつまでも待っています。

ただし、自己流の学びは、きっぱりと止めにしましょう。看板だけ替えた学びも、きっぱりと止めにしましょう。これでは、いつまでも学びに繋がっていても、労多くして、本当の幸せ、喜びを知らずに、空しく冷えて、いたずらに死を迎えるだけです。心して学びに繋がるように努めてください。

田池留吉に心を向けようと思っても、心が向かないと言う方が

いますが、本当は向けたいと思っているのですが、向けたくないという思いが上回っているのが現状ではないでしょうか。くそ田池、死ね田池、お前なんかに心を向けるものかといった思いを供養していけば、田池留吉を思うことが、喜びとなり楽しくなってきます。

供養が楽しくなってくれれば、ますます田池留吉を思うようになります。そうなれば、田池留吉の世界が実感できるように、信じられるようになります。その信が大きく、強くなればなるほど、あなたから愛が、信の大きさ、強さに応じて流れるようになります。

愛は、流れで仕事をしていきます。かくして、田池留吉を思うことが愛だと確信できるようになります。これこそが本当の仕事、本当の人生です。これ以上の幸せはないはずです。

本気で学びを進めていこうと、決意は済ましたか。後は、断じて行うだけです。あなたの心は真実を知っています。あなたを、もっと信じてください。あなたを、もっと大切にしてください。きっと、あなたも、学んできてよかったですと喜ばれる証人の一人になられることでしょう。きっと、なってください。

私は、真実に触れた人間の笑顔を見たいのです。ただそれだけです。よろしく頼みます。

肉のことや神・仏などに現を抜かす人生、存在にさよならしませんか。もっと、もっと自分の実態を知ってほしいと思います。

真実の愛に目覚めましょう。そして、**宇宙に思いを向けていきましょう。宇宙に愛を流していきましょう。**これが、人類最大、最高の仕事です。これから、この仕事を全力を挙げて遂行していこうという方、続々と名乗りを上げてください。私、田池留吉・アルバートは、ただただ、そのような方を待ち続けていきます。天変地異、250年後の転生、次元移行へと、地球人類の唯一無二の仕事をともに成し遂げていきませんか。

上記にある仕事とは何でしょうか。仕事をするとはどういうことですか。簡単に、決意します、仕事を遂行していきますと言われますが、ずっと、地獄から来て地獄に帰る転生を繰り返してきた方にとっては大変なことです。「最後は瞑想です。瞑想の最後は、田池留吉・アルバートを思い、限りなく一つになっていく、このことを信じて行していく」、これだけのことですが、あなたはどうでしょうか。あなたから流れている、あなたが放射しているエネルギーはどんなものでしょうか。そのエネルギーが仕事、闇か、愛か、どちらかの仕事をしていくのです。肉のあなたがするではありません。肉は、そのエネルギーのままに存在しているだけです。

250年後、私が転生するまでの間、ほとんどの方は、必ず転生します。過去世はもちろんですが、死後の自分、来世の供養をしっかりされてはと思っています。まだまだ自分に甘く、冷たい自分に気付いてほしいと思います。こんな状態では、田池留吉・アルバートを思い、宇宙に愛を流す仕事なんて到底できません。

指針に従って、反省と瞑想を、日々怠ることなく続けてください。あなたの本質が、愛、温もりだと信じられるような学び方をしてください。

もっと、自分を大切にしてください。皆さん方は偉すぎると思います。偉すぎては、真実は見えてきません。頭をくるくる回しても真実は見えてくるものではありません。「私はあなた、あなたは私、一つ」の目覚めを待っています。それには、限りなく、田池留吉に近づいていくように学びを進めていくことが最重要です。瞑想、五感を閉じて、田池留吉に思いを向けてください。やれば必ずその結果が出ます。やらなければ、やらない結果が、自己選択・自己責任です。

宇宙とともに次元を超えていく大いなる計画が、本当に、今世始まりました。ともに進んでいきましょう。

五感を閉じてただ一点を思う。田池留吉、アルバートを思う。そして、私の中の宇宙を思う。ひたすらにそちらのほうに思いを向けます。

肉という形を持ってここにいます。形を持っています。そして、私の中の宇宙は今、大きな、大きな喜びを感じています。

肉という形を持っている私。その肉を通して、田池留吉、アルバートの宇宙を心に感じています。心に広げています。田池留吉、アルバートを思えば、心が広がっていきます。

肉の私には全く考えられない心の広がりです。これが私です。

その心の広がり、どんどんどんどん広がっていきますよ、もっ

と、もっと広がっていきますよ、もっと、もっと、心を広げていきなさい、そんなメッセージが来ます。

この心の中のUFOを思います。UFO達が語ってくれます。

嬉しい、嬉しい、嬉しい思いが広がっていきます。

たくさんのUFO達が語ってきます。私は少しも不安ではありません。心を広げています。

私の中に帰ってきなさい。帰っておいで。そんな優しい思いが心から出てきます。私の中のUFO達に、今思いを伝えます。

田池留吉、アルバート、その中にあった喜びの世界、その世界を、もっと、もっと伝えていきたいです。

UFO達も、もっと、もっと心を広げていくと伝えてきます。

UFO達と通信しています。苦しい思いを語ってきますが、それを私の心の世界、意識の世界は吸収していきます。

田池留吉、アルバートに帰ろう。温もりに帰ろうと伝えています。

田池留吉、アルバート。私は宇宙を思えば喜びです。

宇宙を思うことが私のすべてでした。

その心のままに、ふっと原子力発電所周辺の人達を思いました。

過去から逃げて、逃げて、逃げてきた苦しみを訴えていました。今もまた同じ心を使っています。ただ苦しい、苦しいと苦しさだけを怒りだけを訴えています。

肉を自分だとする思いはとても苦しいですよ、私は今、心の中に苦しみを持った意識達に伝えます。

意識の流れに沿って次元移行を果たせなかった意識達。その意識達は残念ながら、宇宙のもくずとなっていきます。

宇宙のもくず、再び今のような肉という形を持って、地球上に生息することはできません。

なぜならば、この地球はもはや人間というものは住めない、そういう状態になるからです。

地球が真っ二つに割れるとかそういうことではありません。

ただ生息不可能な、生物が生きていくことができる環境が破壊されている状態、それが地球という星のこれからなんです。

しかし、地球という星もまた母なる宇宙の中に存在しています。人間というものがそこでは生息不可能な状態になっていますが、地球から流れるエネルギーは喜びのエネルギーです。

私達を受け入れてくださいました。三次元で肉という形を持たせていただき、ここで私達は自分を見つめるということを、ようやく学ばせていただいたこの地球に、今、私は思いを向けています。

地球から思いが帰ってきます。

私は喜びで、喜びで、この三次元の中でこのように存在しています。

もうまもなく私、地球の役目は終わりを告げます。

どうぞ、心を宇宙へ向けてと、そのようにすべての意識達に伝

えます。

それが地球の最後の役目です。

そして、その思いを受け入れてくれることができない意識達、
それらは形を持つことができずに、彷徨さまよい続けるか、固まり沈ん
でしまった状態のままで、地球時間で言えば、何十億年、何百億
年と過ぎ去っていくのでしょうか。

今、そして、これから約250年という間に、この地球上で肉
を持つということがどれほどの愛なのか、何度転生を繰り返しても、
250年後に次元移行をともにできるならば、これからの転
生は喜び、喜びなんですね。

それをご自分の心で感じていただくこと、それがとても大切で
す。

今世肉を持ち学びに集ってきたということは、それぞれの計画
でした。自分を見つめ、自分を変えていく計画を立てて、今世の
肉を持ちセミナーに集ってきたと思います。

しかしながら、その計画通りにいかない意識達もたくさんいま
す。

もちろん、その意識達はこの250年の間、何度か転生をする
と思いますが、今世の計画、それぞれの計画してきたことを、今
世にある程度こなしていかなければ、次元移行という意識の流れに
乗るということは大変厳しいものがあるのではないかでしょうか。

もちろん、今世学びに集ってきた意識達は、自分でそういう計画を立ててきました。自分を見つめていこうと母から肉体をいただき私、田池留吉のセミナーに集ってきたんです。それは紛れもない事実です。

そして、それぞれの予定ということがございます。それも事実です。

その予定したところまで到達できない人達、つまり自分が立てた計画を、もう一度見直さなければならない人達、その人達は、これから転生がさらに厳しくなってきます。

そして、その厳しい転生の中で心を繋いでいけるか、250年後、次元移行の意識の流れを、きっちり自分の中で確立できるか、それはどこにも保証はありません。

自分の心を見つめ、自分を自分で包んでいくこと、私がずっと伝え続けてきた自己供養ということを、真摯に真剣に本当に真正面からしていってこそ、意識の流れに乗っていけるんです。

それほど心に作ってきた他力のエネルギー、それは、本当にすごいということです。

私は、皆さんの学び方の姿勢、学び方自体が甘い、そのように伝えてきました。それを本当に自分の心でそうだと思っている人は、一体どれほどいるでしょうか。

しかし、意識の流れは厳然とあります。そして、その流れはすこぶる順調に流れています。

私には、あの人、この人、そういう思いは一切ございません。

ただ、意識の流れの中にあることを、それがしっかりと自分で見極め、そして、ひたすら自分を見つめていくこと、それが

本当に真実へ繋がる道だと、ただ私は、そのように伝えています。

意識の流れは、順調に流れています。

宇宙が、覚醒、意識の転回、次元移行を目指して進み始める。

自分の心を見るもののみが知る喜び、幸せをどうぞ。

まず、母の温もりを知ってください。0歳の自分に帰ってお母さんを思う瞑想を続けましょう。

母の温もりを捨て去り、母の温もりを忘れ去った者達にとっては、母の温もりを知るには、多大の時間と試行錯誤が必要でしょう。しかし、焦らず、弛まず、^{たゆ}真摯に、母を思う瞑想を続けていけば必ず母なる宇宙に帰れると確信しています。苦悩、不安、恐怖、不幸せの原因は、すべて、母の温もりを知らない者の心にあります。このこと、ゆめゆめ疑うことなけれ。

人はなぜ生まれてくるのでしょうか。

人間というものは形を持っています。肉体という形を持っています。

本来、その形を持って何をなしていくべきなのか、人生の中で何を成し遂げていくべきなのか、すべての人達に真実を伝えていかなければならぬのです。

「真実はあなたの心の中にあります。私達の本当の姿は意識、エネルギー、目に見えないもの。」

その本当のことを自分の心で知るために、私達はこの肉体という形を持ってくるのです。

生まれるということは、肉体という形を持ってくるということです。その肉体を通して、自分の本当の姿を知っていこう、その思いから人は生まれてくるのです。

私達は、お母さんのお腹から生まれてきます。そして、人生と呼ばれる時間の中で、色々な出来事、色々な人達と出会っていきます。

そこで、人は成長していくと思います。しかし、その成長とは一体何でしょうか。たとえ、色々な過程を経て人間的に成長していったとしても、自分達の本当の姿を知らずでは、その成長は甚だ疑問に思います。

私達の本当の姿は目に見えないんです。目に見えない私達の存在を自分の心で知るために、この肉という形を持ってくる、それが意識の流れの中の本当の愛なんです。

本当の愛に目覚めた意識、その意識はこれから仕事をしていきます。

自分達の本当の姿を心で知っていくように、自らを促していくんです。当然、形の世界は崩れていきます。

自ら形を持って自分達の形の世界を崩していく、形の世界が現実だという思いを崩していくのです。

崩れて、崩れて、崩れていって、そこで何かに気付いていかなければならないし、また気付きがあるのです。

自分達の本当の姿を知るために、心で知るために、私達は肉という形を持てきます。

肉というものが本当の自分ではないと心で知っていくために、肉体という形を通して、自分に形の世界の崩壊を知らせていくのです。

私達はエネルギーだから、エネルギーは自らに仕事をします。

そして、自分を含め形の世界を本物とする思いを根底から崩していくために、自らに促していくエネルギーは、眞実に目覚めていきたい、目覚めていこうとする喜びのエネルギーです。

宇宙に愛を流す仕事とは

自分の本当の姿を心で知り、自分の本当の姿を心に広げ、その自分とともに宇宙を思えること、宇宙を思い、次元移行の計画を心の中にしっかりと広げていけること、それが条件です。

宇宙に愛を流す。自分が何であるか。自分の中に本当の優しさ、温もりがあり、それが自分だと心で知り得た意識、それが宇宙に愛を流していける仕事をしていくんです。

自分がエネルギーであること、そのエネルギーが愛であること、自分自身が愛あることに目覚めること、それなくして、宇宙に愛を流す仕事はできません。

田池留吉、アルバートとともに存在する。田池留吉、アルバートとともにこの次元を超えていく。それが宇宙に愛を流す仕事の第一歩です。

宇宙に愛を流す。これから時間、地球時間でいう 250 年の間、宇宙に愛を流す仕事ができるからこそ、すべての意識達にこのメッセージを送ります。

「私達は愛。私達は喜び。私達は温もり。」

このメッセージこそすべての意識達に繋がっていくんです。次元を超えていこうというメッセージを送る。この仕事こそ、宇宙へ愛を流す仕事です。

心の中に芽生えた喜び、温もり。遙かなる宇宙へ喜びを伝えていく、その思いは今、本当に滞りなく流れています。

意識の流れに語りかけています。

意識の流れを自分の中に広げていけること、意識の流れを自己の中で感じていけること、ああ、それが本当に喜びの道なんです。

田池留吉、アルバートとともに歩いていく道、その道をしっかりと心に広げられる喜びを感じてまいりましょう。

今世、肉をいただいて、私達と出会えたのですから、しっかり自分の心を見ていくようにしていきませんか。

意識の流れ、次元移行、真実、大変失礼なことを申すようですが、学びに繋がっている皆さん方、甘い、甘い。皆さん方、己が偉い、どうしようもないぐらい偉いことに気付いていませんか。ほとんどの方はほど遠いところで彷徨さまよっている状態です。

自分を大切にしてください。自分に誠実で正直に生きていきましょう。人類の歴史上、正しい、素晴らしい者など一人も存在したことはありませんでした。この事実は、頭をいくら回しても分かりません。しかし、あなた方の心で分かるのです。どうぞ、このことを信じて学びを進めていってください。肉を、形・現象を本物とする思いは地獄です。いつまで、地獄から出て地獄に帰る転生を繰り返していくおつもりでしょうか。

一人でもいいですから、只今からでも、正しい瞑想を正し

くやり始めていきませんか。待って待って待ち続ける所存です。100年でも、200年でも、ずっと待ち続けています。

眞実は、一つ。私はあなた、あなたは私、一つ。あなたも意識・エネルギー、エネルギーが仕事をします。愛を流していく仕事をしていきましょう。

意識の流れは、次元移行に向かって順調に流れています。あなたの心で確認してください。あなたの意識の転回の進み具合はいかがですか。正しい瞑想を通して確認していきましょう。

最後は瞑想です。正しい瞑想とは、田池留吉にあなたの心を向け、合わせる瞑想です。

私達の本質は、意識、エネルギー、愛です。あなたのエネルギーは愛を流す仕事をしていますか。それとも、己を誇り、己を高く高くそび聳え立たせるために使っていますか。日々、瞑想を続け、確認の作業を怠らないように心掛けてください。

『宇宙の風』はとてもいい本だと思います。しっかりとした文章の中で、しっかりとした波動が流れてきます。宇宙に対する思い、宇宙へ向ける喜び、そういうものが私には伝わってきます。

『宇宙の風』に心を向けて私の思いを語ります。 塩川香世

次元移行への計画の中で、私達はこの三次元で出会いました。田池留吉、アルバートとともに歩いていく道をこの心でしっかり

と感じながら、『宇宙の風』を書き綴ってきました。その喜びとともに私はあります。

次元移行が私の喜びです。次元移行は意識の流れ、そのことを心で知った私の喜びを『宇宙の風』の中で表現しました。

次元移行は、意識の流れの中の、とても大きな一点です。

その流れを私の心は確実につかんでいることが喜びです。

心の中にお母さんを呼ぶとき、ああ、お母さん、ごめんなさい、間違ってきましたという思いと、お母さんの愛に支えられて私はこれまでずっと、ずっと存在し続けてきた喜びが心に広がってきます。

「母の温もりを心に呼び起こしなさい」。田池留吉のメッセージとともに、私の中に、母なる宇宙への思いが心に湧き起きました。

母なる宇宙、私達はその宇宙へ帰るために、今こうして肉を持っています。その途上にあるんです。私はその中でこの喜びを意識達に伝えていきたい、その思いで書き綴ってきました。

お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。

肉をくれたからこそ、私はこのように自分の心を語ることができます。

自分の心を語っていけば、私の中に、本当にあの宇宙に帰りたかった喜びが湧いて出てきます。

母なる宇宙に帰りたい、帰りたい、そうして私はずっと、ずっとこの三次元で肉を持ち続けてきました。

ようやく、ようやく、本当に最後の最後の時になって、私は今、ようやく自分の中に母なる宇宙へ帰る道筋をしっかりとつけたことを心に感じます。

その私の中から出てくる思いが、『宇宙の風』という本で表現されています。

お母さん、私は、『宇宙の風』を、もっと、もっと進化させていきます。

これからも、私はお母さんに心を向け、田池留吉、アルバートを心に呼び、母なる宇宙に心を向け、私はこの心の中から上がってくる思いを文字にしていきます。

『宇宙の風』は、その第一段階です。

私の中に喜びを伝えていきたいという思いが、とても、とても大きくなっていくでしょう。ということは、これからこの三次元での出来事を私は少しずつですが、やはりはっきりと知られていかなければならない、それが私にはどうしても避けられないことだと思います。

そのことを通して、私達の喜びの思いを伝えていきたい。

宇宙へ帰ろう。母なる宇宙へ帰ろう。

そのためには、自分の心を見て、自分の出してきたエネルギーが本当に間違ってきたことを心で知っていくことが本当に待たれていることを、私はこの心の中から伝えていきたいです。

私達は、この度、東日本大震災を経験しました。あなたは自分のできること、自分のしなければならないこと、分かっているでしょうか。私がお伝えしてきた正しい瞑想をやっていない方は、何も分からないのではないでしょうか。

私達地球人類は、小さな神を作り上げ、日々の安寧^{あんねい}を祈り、自分達に災いが降りかからないようにその思いを強く、強く持ち、これからも祈り続けることでしょう。

しかし、意識の流れは厳然としてあります。次元移行への道を決意した方は、まず、何よりも、神をあなたの心から離していくましょう。そして、あなたが、250年後、幾多の試練を乗り越え、再び私とお会いできますように。楽しみにして待っています。

神を心から離すこと

まずその前に、他力の神々と一体化している心から、その他力の神々を離していくことは、本当に至難の業だと知ってください。

ゼロ歳の時の瞑想を重ねても、心の中から他力の神々を離すということは、そう簡単にはできません。

自分の心の中に温かな柔らかな母なる宇宙があることを本当に心で感じ知っていくには、他力の神々が心の中に居座っている現状では、本当に難しい作業です。

しかし、今、肉を持って難しい、難しいと言われてきた学びに集っている人達は、心を見るということを通して、やはり難しいながらもほんの少しでも、他力の神々を心から離していくように努めていかなければなりません。^{たゆ}弛まず、焦らず、真摯な思いでやっていくしかないのでしょう。

さて、他力の神々から心を離すとはどういうことなのでしょうか。

それは、言うまでもなく、あなたの中の温もりを本当に心から蘇らせることです。本当の自分に目覚めることです。意識の転回と言いました。意識の転回なくして、他力の神々と決別すること

はできません。

だから、これから転生があるんです。皆さん、その転生の時間を自分に用意しています。

その中で、今世よりももっと厳しく他力の神々を心に広げてきた世界と対面していくようになっています。それがいわゆる天変地異です。

幾多の試練を乗り越えてというのは、天変地異を自分で本当に心から受け入れていくということです。

祈る心も縋る思いも、救われたい思いも、心の中から本当の喜びと温もりが蘇ってきたならば、そういう思いはすべて、その中に吸収されていく体験をしていかなければなりません。

心の中から湧きいずる喜びの思い、温もりの思い、本当に優しい自分の心の中を知っていくために、これから時間を使意していることを心から喜んでください。

次元移行という意識の流れは確実に、着実に滞りなく流れています。だからこそ、厳しい転生の時間を自ら用意しているんです。想像を絶する天変地異の中で自分の心と真向かいになっていってください。どうぞ、その体験へ経て250年後を迎えていってください。そして、心から祈り続け、救いを求めてきた愚かな自分の心を、今度こそは本当に正しい方向に向けて、ともに次元を超えていっていただきたいと思います。

他力の神々を心から離す難しさを、これから250年かけて学んでいってください。

「私はこの命を懸けています。皆さんも」と言ったとき笑った

人がいました。どうしてこんなことに命を懸けるのかと私を嘲笑し、見下げ、離れていた人がいました。神を離すことは至難な業です。これからは、祭り、祈り、救ってください、助けてくださいと願うことは止めにしませんか。しかし、すべてのものは、常に、喜びと温もり、愛の中にあります。どなたにも、幾多の試練、転生を経て喜びと温もり、愛の中にある自分の存在に気付けるチャンスは必ずあります。

自分で計画し、生まれてきた今世を効果的に生きてください。私がお伝えしている手順に従って学びを進めてください。きっと、不思議だったなあという経験をしながら、人生は喜び、すべてプラスだったと思えるようになってくるでしょう。

意識の転回を片時も忘れないように。意識の転回への道を真っ直ぐに進んでください。

反省と瞑想を続けてきて「私は、間違ってきました。何が間違ってきたかよく分かってきました」と。学びはここから始まります。私、田池はまず、「どのようにして分かってきたのですか、何がどのように分かってきたのですか」と質問を発します。そして、私がお示しした指針に沿って真摯に学びを進めておられると思えたら、私は誠心誠意、次元移行に向かって、その方とともにともに進んでいきたいと切に思っています。今世、そのような方の出現を楽しみにして待っています。よろしく。

学びに集っている人達の心の中のアマテラスは、ほとんどまだいまだに苦しみ喘ぎ続けています。なぜなんでしょうか。

田池留吉です。それは、自分の本当の姿、母の温もりの中にある、喜びの中にある自分の姿に目覚めていないからです。

どんなにアマテラスに思いを向けてきたことか、どんなにアマテラスを奉り、そのパワーを欲してきた愚かな自分であったか、そんな自分の姿、自分の心の中をしっかりと見ていないからです。

今もなお、アマテラスのエネルギーのもとで苦しみ喘ぎ続いている人達の意識の世界は、これから本当に大変だと思います。

今世、これほどセミナーというありがたい時間と空間の中で、アマテラスに心を向けて、アマテラスを自分の中で受け入れていただける絶好のチャンスを用意したにもかかわらず、それをすべて自分の愚劣な想いで、ふいにしてきた結果は自らに返ってきます。

アマテラスの心を喜びの中で受け入れていくために、今世生まれてきて、このセミナーに集ってきたのに、その想いをことごとく踏みつけにしてきたエネルギー。そのエネルギーを本当に自分で知っていくために、からの転生があるのでしょう。

「命懸けで心を見てください」。私は何度もセミナー会場で伝えてきましたし、今もその想いでいます。しかし、今もって、どれだけの人達が命懸けで心を見ようとしているのか、その難しさを感じざるを得ません。しかし、私は、今世、ほんの微々たる歩みでもいいですから、何か、自分の中から何かをえていっていただきたいたい、その想いでいます。

アマテラスの心を喜びの中で受け入れ、それを喜びへ本当にともに帰っていこうとすることは大変なことなんです。

しかし、一方で、その大変なことを実際にやり、それを証明してくれた人がいることも現実です。

それを私は本当に嬉しくありがたく思っています。

ともに歩いていける喜びを心にしっかりと感じながら、いつも、いつも田池留吉、アルバートを思える瞑想の中で、宇宙を思う喜びをじっくりと味わっていけるそんな時間。それが本当に夢のまた夢ではないことを、一人また一人と本当に知っていただきたいと思っています。

私のこの思いはなかなか皆さん的心の中にストレートに届いてくれません。しかし、私はただ伝えていくだけです。

意識の流れは、次元移行へまっしぐらに進んでいっていることを、私はただただお伝えしています。

肉を本物とする思い、肉が自分だとする思いは、この三次元に転生をしてきた意識達には、本当に、根深く、根深くこびりついています。

その意識達が今世を境に目覚めようとする意識の流れを、私達は伝えています。

難しい作業です。しかし、意識の流れは淡々と流れていることを心に感じているでしょう。そうです。意識の流れは間違った思いを根こそぎ変えていくために、今、本当に力強く流れています。

肉を本物とする思いを根底から覆す現象は、何度もお伝えしている通り、大規模な宇宙的規模の天変地異、それしかありません。そのメッセージを通して、お伝えしていくのです。

どんなに人間の頭を結集しても、人間の知恵と勇気を結集しても、意識の流れに反逆する思いは、すべてその中に吸収されています。

吸収されていく、それは喜びなんです。

崩壊ということを通して、喜びの中に吸収されていく。そうしていくことで、自分達の間違いに気付いていけるのです。

真実を見失った意識達に伝えることができるのは、喜びに目覚めた意識が本当に心を真実の方向に向けていったときに流れるエネルギーです。そのエネルギーが仕事をするのです。

心の中に、田池留吉、アルバートを呼び、その方向にしっかりと心を合わせることができたならば、それが喜びのエネルギーとして仕事をしていきます。

たくさんの意識達の目覚めを促していくこれから的时间。私達は喜びでその出来事をお伝えしていきます。

母の懷に帰れる喜び。永遠の温もりの中にあった自分を心に思い起こすことができる幸せ。心の中にお伝えできる喜びと幸せとともに感じてまいりましょう。

私の思いを伝えていきなさい。心から溢れる喜びを流していきなさい。苦しい意識達が心に語ってくるでしょう。しかし、喜びで受け入れていける心の広さ、温かさをあなたは知っています。

その広さ、温かさで、心の中に語てくる苦しい意識達に伝えていくのです。

すべては喜びの中にあることを伝え続けていくのです。

私達の思いは、ただ一つ。

この次元を超えて、さらなる喜びの世界へともにまいりましょう。

私達はこの心から喜びを発信してまいります。

喜びの中へいざなっていける心の中を感じていってください。
意識の流れはあなたのなかで滔々^{とうとう}と流れています。すべてが一つ
になっていく喜びをともに伝えてまいりましょう。

ともに歩いていける喜びをただただ伝えます。私はあなたとともに歩いていく意識。ともに存在していく意識。すべてはこの中にありました。すべては喜びの中にあったことを伝え続けてまいりましょう。

あなたは自由です。あなたが、自分の心をどこに向けようと、合わせようと、全く自由です。しかし、選択した責任はあなたにあります。絶対的責任です。自由の意味が理解できず、間違った選択をすれば、苦悩、災難としてあなた自身に帰ってきます。「苦しんでいるあなたが間違っている」ということになります。では、何が唯一無二の正しい選択でしょうか。あなたの心でまだ分かっていない方は、どうぞ学びの指針に従って実践的学びを進めてください。

田池留吉よりも先に死んだ人は別として、皆さん、田池留吉の肉がなくなったあと、どのように学んでいきますか。ご自分の学びについて、こうやっていくんだという道が見えていますか。

塩川香世

田池留吉の肉があるときでさえ、しっかりと学んでいくことができない人は、もうその時点で、田池留吉の肉がなくなったその

時点から、ご自分の学びに対する思いに揺らぎや陰りが即座に表れてくるでしょう。

ご自分のこれから時間について、しっかりとその先が見えているでしょうか。見えている人は何人いるでしょうか。

自己確立、独立独歩、それは本当に自分に対する優しさです。その世界を確立することが本当に自分に対する優しさなんです。自分を自分で救っていく、自分に少しでも本当のことを伝えていける、その喜びと幸せ。しっかりと足取りで自分をいざなつていけるその道筋が見えている。あるいは、今私はその道を着実に歩いている。そういう確信があれば、本当に幸せだということです。

反対に、肉、肉の人、田池留吉の肉にぶら下がっている人、他力の中にすっぽりとある人、ご自分の道が見えていない人、本当にこれから大変な時間を迎えるということです。

しかし、それもまた自分の優しさ、本当の優しさ、本当の喜び、そこから自分に用意している時間です。

自分を知るために、自分を学ぶために、自分に真実を伝えるために、こうして肉をいただいてきたことを心から喜んでいきましょう。それがなければどんなに肉が満たされても、地獄の中から抜け出ることはできません。

意識の世界の喜びと素晴らしさを感じていけばいくほど、その厳しさももちろん感じます。厳しさというよりも、意識の世界はたった一つの真実の世界だから、厳しくて当たり前なんです。

どんなに何を求めて、その一つということ、一つの世界に

ある自分に出会うことがなければ、地獄にほかなりません。意識の世界はそういう世界です。そしてその世界が実は自分なんです。それを田池留吉の世界は、肉を持って伝えてくれました。

「本当の優しさ、本当の温もり、愛。愛である自分に目覚めていくんですよ。」

田池留吉のメッセージ。今世、肉を持って伝えていただいたこと、何にも代えられないことでした。そして、それが心に行き渡る幸せ、喜びは言うまでもありません。

宇宙に思いを向けてます。 塩川香世

田池留吉、私は宇宙に思いを向けてます。

心の中を語っていくとき、喜びが上がってきます。宇宙は待っています。たくさんの意識達が待っている。

肉を持たずに、私達の思いを心に広げていける喜びを感じてくれています。私は宇宙達に思いを向けています。

「心の中をどんどん見つめていってください。見つめていきましょう。心の中からたくさんの、たくさんの喜びのエネルギーが出てくるでしょう。それがあなた方なんですよ」。私は、そのように伝えます。

懐かしい、懐かしい。懐かしい、懐かしい。

この三次元で出会えています。私の仲間達に出会えています。

懐かしいです。よく心を向けてくださいました。私はとても嬉しいです。

また一つになって、本当に一つになって存在していけるんですね。

私は三次元で、心を見つめてまいりました。

250年後の肉を持つ私は今ここに存在しています。250年後の肉とともに宇宙へ思いを向けたとき、「私はこの三次元で心を見つめました。たくさんの母からこの肉体をいただき、自分を見つめていけるチャンスを本当にたくさん得てきました。ありがとうございます」。

宇宙よ、私は今、心にこの思いを流しています。

私は自分の喜びの世界に帰れることを伝えました。喜びの世界です。母の安らぎの中に私達はありました。三次元にやってきてようやく、私はともに存在していた仲間達に伝えることができました。

250年後の肉を置くとき、私はこの宇宙達とともに次元を超えてまいります。250年後の肉を最後に、私はもう肉を持たない次元へ行きます。さらに私は私を進化させていきます。

宇宙達よ、ありがとうございます。三次元の学習をさせていただきました。その結果を私はあなた方に伝えることができました。

私はあなた方とともに存在していました。心を見つめて、私達はさらに母なる宇宙へ帰る道を歩いてまいります。田池留吉、アルバートと私達は教えていただきました。母なる宇宙へ私達をいざなってくれる喜びのエネルギーが私達にそう伝えてくれました。

「一つ、一つ、一つ、私はあなた、あなたは私、一つの世界へ

ともに帰りましょう」。そのように伝えていただきました。

私はこの肉を持ちながら、その学習をさせていただきました。
そして、心に目覚めた喜びを今、宇宙に向けて発信しています。

喜びのエネルギーを流していくことが喜びです。私は250年後の肉を置き、この思いをさらに深めてまいります。

皆さん、ゼロ歳の瞑想を本当にやっていますか。ゼロ歳のあなたを心に広げ、自分の中に作ってきたブラックを本当に喜びで受け入れていますか。

ゼロ歳の瞑想を軽んじないでください。ゼロ歳の瞑想。
あなたの内でゼロ歳の時のあなたに戻り、あなた自身を感じ、心に広げ、その心の中であなたの闇の部分を受け入れていく、それが基本です。

ゼロ歳の瞑想が滞りなくできていますか。
ゼロ歳のあなたはどんなあなたでしょうか。
ただただ母の懷に抱かれ安らいでいたあなたの中には何もありません。何もなかったんです。こんなことをしたい、あんなことをしたい、こんな私になりたい、こうであらねばならない、こうしなければならない、こうあるべきだ、もっと私をというそんな様々な思いなど微塵もありませんでした。

ただただあなたはあなた自身に委ねられていた。母の懷の中で、大きな安らぎの中で幸せを喜びを満喫していた。そんなあなたの心。その心を本当に感じていますか。

本当に感じていたなら、あなたはあなたを少しづつ受け入れていくはずです。あなたの中の闇のエネルギーを受け入れていけるはずです。あなたの中の宇宙は少しづつ変わっていくはずです。

ゼロ歳の瞑想、本当に大切にしてください。

ゼロ歳の時にすぐさま戻れますか。あなたの心の中で一瞬にして、ゼロ歳のあなたに戻れますか。あなたの内でその訓練をしてください。それがあなたが肉を持ってすることです。また肉を持ってしかできないことです。

ゼロ歳のあなたを本当に心に広げ、そのあなたを感じ、そんなあなたから、狂ってきた、間違い続けてきたあなたに、今あなたが感じたゼロ歳の時の思いを流していってください。

田池留吉、アルバートとともに次元移行を思えることが、私は本当に幸せです。喜びです。田池留吉、アルバートとともに次元移行を語れることが幸せです。喜びです。 塩川香世

三次元にやってきた私は、肉という形を持ち自分を見つめることを経てきました。そして、今、これから時間経てもう一度肉を持ち、自分を見つめたくさんの私とともに次元を超えていく喜びを感じていける、そんな素晴らしい時間を心に感じています。

私は田池留吉、アルバートとともに次元を超えていくことを語れることが幸せ、喜びです。

これほどの幸せ、喜びはないでしょう。次元を超えていく、ああ、本当にこれが現実のものとなって、心に響いてくる今を感じ

ています。

それを達成するために今世の肉を持ち、250年後の肉を持つ素晴らしい計画でした。

そして、その計画通り、予定通り歩みを進めていることが、また本当に素晴らしいことだと感じています。

意識の流れに思いを向けるとき、ただただ本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。その思いだけが出てきます。

次元を超えていく喜びとともに味わっていける。田池留吉、アルバートとともに次元を超えていく喜びを語り合える。本当にありがとうございます。

可能な限り、宇宙に点在する意識達とともに次元を超えていきたいと心から思います。

肉の喜びと幸せ、そして、肉の苦しみ。すべては同じでした。

この心の中から上がってくる思いを広げていくと、肉の喜びも肉の幸せも肉の苦しみもすべては同じでした。同じところから発せられた、ただただ間違った苦しい、苦しいエネルギーでした。そう私は心に感じます。

私は、これからも、淡々としかしひたすらに、宇宙に思いを向けていきます。三次元で本当の喜びに触れた意識は、ただ宇宙に思いを向け、ともに帰ろうと呼びかけ続けます。そして、肉はその思いとともに、つつがなく喜びの時間を過ごしてまいります。

私達は波動です。 波動は真実です。私にとっては真実のみ、真実がすべてです。

私からのメッセージは波動です。その波動は愛、愛は喜び、温もり、愛は、愛を信じる者の愛の外のものをすべて吸収していきます。そして、愛に返していきます。

母の温もりを忘れ去った者、母の温もりが分からぬ者、その者達の波動は、愛からほど遠いもの、いわゆるブラック。その者達が伝える田池留吉・アルバートのメッセージというものは真にあらず、偽というべきものとお伝えしておきます。愛薄き者達からの言葉に自分の心が動かされることがないように注意してください。真実を伝えているのは波動だけだと重ねてお伝えしておきます。

幸せな人生とはどんな人生でしょうか。 塩川香世

誰しも幸せな人生を送りたいと思っています。幸せな人生でしたと語る人はいます。では、幸せな人生とはどんな人生を言うのでしょうか。

人は言います。人それぞれの価値基準が違うから、幸せも人それぞれに違う。その中で自分が幸せな人生だったと思えることが幸せなんだ。本当にそうでしょうか。

幸せな人生とは、自分を知るところから始まるのではないでしょうか。では、自分を知るとはどういうことなのか。自分の何を知るのか。

まず、今自分だと思っている自分だけが自分ではないと知ることです。心の中に抱え持ってきたたくさんの、たくさんの数知れ

ない自分とともに、私は今、存在しているんだと知っていくことです。

そこには、本当に耳を塞ぎたくなるような自分の心の叫び、うめき声があります。そして目も覆いたくなるような、見るも無残な姿になり果ててしまったたくさんの自分がいます。

そういうことを心で知っていくこと、その知っていく過程を経ていくこと、それが欠落していては、幸せな人生とは言えないと思います。

私達は自分を知るために生まれてくるのです。苦しみの中で叫び、うめき続けてきた自分を知って、その自分に救いの手を差し伸べるために、生まれてきます。

私達の本当の仕事は、苦しみの中にある自分を心で知っていき、その自分に本当のことを探していくことがあります。その本当のことを探していく手立てを知っていけることが、幸せな人生なんです。

あなたの心の中で、本当の自分の姿を少しずつ感じ、その自分が少しずつ顔を出し、その自分と出会えたことを喜んでいける時間を持つことが幸せな人生なんです。

自分が自分にありがとうを心から伝えていける、そんな時間を日常生活の中で用意できる、そういう人生が幸せな人生ではないのでしょうか。

自分を自分で感じていける喜び。自分の中に本当に優しい、優しい思いがあった。温もりがあった。広がる心があった。どこまでも伸びやかに広がる自分があった。その自分に出会いていける喜び。そのために、周りの人達がいた、自分の環境があった、そ

ういうことを心から感じていける喜び。そういう時間を過ごして
いけたなら、その人の人生は、ようやく幸せな人生だったと言え
ると思います。

自分を知らずにいることが、どんなに自分に対して冷たくて悲
しくて辛いことなのか。

自分の本当の姿を知らずに存在している中では、とても、とて
も幸せな人生など分からぬと思います。

今世、アマテラスのエネルギーがその質を変え、喜びを宇宙に
流していくこととなりました。 塩川香世

我一番、心に誇るエネルギーをたくさん蓄えてきた中に、優し
く染み透ってくるものがあるんです。

アマテラスの意識は目覚めましたと伝わってきます。そう、私
達もその思いをこの心から流していきたいです。

アマテラスの意識の優しさと温もりが伝わってきます。

アマテラスが伝えてくれました。

「お母さんの懷の中にあった私達でした。宇宙は一つでした。
それぞれが制覇してきたと思ってきました。アマテラスの宇宙も
あなた方の宇宙も何もありませんでした。すべては一つ。優しさ
と温もり。ただただ広がる大きなエネルギーの中にすべてが吸收
されていくことを知ってください。」

と伝わってきます。

私達もその中に吸収されていく喜びを味わっていけるのでしょ

うか。

私は田池留吉、アルバート、母なる宇宙からこの喜びを伝えて
います。

どうぞ、心の中に私達の思いを受け入れていってください。あ
なた方の中にある優しさ、温もりを心に広げていってください。

アマテラスが伝えた通り、あなた方の中に本当の喜びがあるん
です。私達はその喜びをあなた方、宇宙に伝えます。心を田池留
吉、アルバートに向けていってください。

私達は意識の流れを伝えています。次元移行を伝えています。
心をどうぞ、広げていってください。次元移行へ。その大きな意
識の流れを心に感じていってください。

心を広げていきなさい。アマテラスはすでに変わりました。ア
マテラスの心から流れていくエネルギーは、すべての宇宙を目覚
めさせてまいります。

「田池留吉、アルバートとともに帰りましょう。温もりへ帰ろ
う。」

あなた方に呼びかけていくでしょう。その思いに素直に従って、
田池留吉、母なる宇宙を心にどんどん呼んでいってください。

宇宙へ、宇宙へ私達は今、喜びのエネルギーを流していってい
ます。

有限なるものと無限なるもの、やがて消滅するものと永遠に存
在し続けるもの、ご存じですね。

では、あなたは、肉と意識をどのようにお考えでしょうか。肉が本物とお考えでしょうか。それとも意識が本物とお考えでしょうか。あなたはあなたの死をどのようにとらえていますか。あなたは死後のあなたと交信していますか。死後のあなたを知らずして、自分の人生を語るなんて嘘っぱち、もっと自分に誠実に生きてください。生きましょう。

田池留吉、アルバートに委ねるということについて 塩川香世

田池留吉、アルバートの心に委ねていく。その心、その信を強く育てていくことが一番大切です。いいえ、それがすべてです。

田池留吉、アルバートに委ねる心。すべてを委ねていく。何もかも委ねていく。それは、これから250年、300年の時間の中で次元移行という意識の流れが遂行されていくために、絶対に必要なことです。

田池留吉、アルバートに委ねる心、その心が次元移行を達成していくのです。

田池留吉、アルバートを心で知っていくこと、今世、田池留吉という肉を通して伝えていただいたこと、本当にすごいことでした。

田池留吉、アルバートに委ねていく心を大きく、大きく育ててていけばいくほど、次元移行への道が見えてまいります。意識の流れの中にあった私達が見えてまいります。

ああ、それは、もう喜びしかありません。次元移行を伝えに来てくれた意識の世界に心を合わせていける喜び、田池留吉、アルバートに心を委ねていける喜びこそが、すべてです。それがなければ何も始まらないのです。

300年の猶予期間しかありません。300年という時間はあってという間に過ぎ去っていきます。

私達の思いを遂行していくために、すべてを心から離していくことが大切です。それが本当に待たれるのです。すべてを離していく、そうすべての他力のエネルギーを心から離していくことが待たれています。

それがたった一つの大きな、大きな条件です。

田池留吉、アルバートに心を委ねていけるのは、他力のエネルギーを自分の中でしっかりと見つめ、それを喜びへ変えていける道筋にあらねばなりません。

たくさんの狂った意識達、間違った世界、間違った宇宙を作ってきた私達にとって、田池留吉、アルバートにすべてを委ねていく難しさを学ばせていただきました。

その中で、心を解き放つ喜び、心を解き放していく素晴らしさもまた学ばせていただきました。

一步、一步、着実に歩みを進めていける喜びを感じています。

田池留吉、アルバートに心を委ねていけばいくほど、広がっていく世界があります。すべてがここにありました。私のすべてがここにありました。喜びの世界がありました。

自分の心が何を叫び、何を訴えているのか、じっくりと自分と向き合っていく時間を持っていきましょう。

田池留吉です。自分に優しく、本当に自分に優しく時を過ごしていけることを心に感じていけるような、そんな学び方をしていくください。

自分の心が何を叫び、何を訴えているのか、真正面から自分をとらえ、しっかりと自分を受け入れてあげてください。

心の中の冷たさ、自分に対する冷たさ、氷のように冷たかった自分の心をしっかりと見つめていくんです。

他力のエネルギーの中に沈んでしまった心を、自分の中でじっくりと見つめていくことは並大抵のことではありません。

欲で他力のエネルギーに縋り、他力のエネルギーを求め、我こそはと踏ん反り返ることは簡単なことなんです。

しかし、自分の冷たい、冷たい心をしっかりと受け止めしていくことは、一朝一夕にはできません。

心を見る、見つめていきなさい、見つめていくんですよ、心を見していくんですよ、このメッセージがどれほどの愛のメッセージであるか、実践すれば分かります。本当に心で知っていってください。

田池留吉、アルバートの意識はいつまでも、いつまでも待っています。

しかし、それに応えていくのは、それぞれです。

待ち続けてくれている思いを心に感じるならば、本当にご自分をしっかりと真正面から見つめ、受け止めていきなさい。

本当の優しさに触れてください。本当の温もりを心に感じてください。

どなたの心の中にも、田池留吉、アルバートからのメッセージが届いているはずです。

「心の中を見つめていくように。見つめていくように。それがあなたに対する愛なんですよ」。そんな思いがあなたの中に感じられませんか。

肉を持って学びに集ってきた人達に、私は伝え続けます。

そして、私の思いは、その人達に留まることなく、宇宙に向けて発信しています。

私の思いは、私の意識の世界は、「すべての意識達よ、ともに歩んでまいりましょう」。そのように伝え続けています。

そして、私達は意識の流れとともに、地球時間で言うならばあと300年でこの次元を超えてまいります。

意識の流れ、母の温もり、自己供養、そして次元移行。最後の最後の瞑想、それは田池留吉、アルバートを思い、心を合わせ、すべてを委ねていくこと。最後の最後の学び、それは、田池留吉、アルバートを思い、心を合わせ、すべてを委ねていくこと。意識の転回の進んでいない方には大変難しいことでしょう。

頭を回すことしか知らず、競って頭をくるくる回し続け、頭を誇っている方々、頭は有限、やがて崩れていくものと心得てください。私達は意識、無限、永遠に存在するものです。

田池留吉、アルバートに委ねるとはどういうことかお分かりで

しょうか。あなたは委ねることができますか。欲や他力の心では委ねることはできません。助けてください、救ってください、何とかしてくださいでは委ねることはできません。学びの指針に従って進んでいけば分かってくるようになってきます。

あなたが疑問に思っていることに対する解答はすべてあなたの心の中あります。あなたの心の中で田池留吉がすべて答えていきます。あなたの心の中で**田池留吉と対話**していけるように学びを進めてください。

どうしても、田池留吉、アルバートに委ねられない方は、あなたの心の中で田池留吉に質問をしてください。必ず正しい解答が得られると思います。

瞑想を楽しむ毎日ですか。 塩川香世

あなたは、毎日、瞑想を楽しんでやっていますか。喜びでやっていますか。その時間が待ち遠しいですか。瞑想をする中で、あなたの心はどこを向いていますか。田池留吉、アルバートを素直に呼べますか。あなたの宇宙を心に呼ぶことができますか。あなたに対して優しい思いを向けることができますか。

私は、今、いくつかの問い合わせをしてみました。

私は、瞑想を楽しんでいます。瞑想をする時間が楽しいです。嬉しいです。私は私を感じることが嬉しい。その時間がとても嬉しいです。

今、瞑想をする時間を持つことが喜びなんです。ゆったりと

ゆっくりと自分の心を広げ、その中で私を感じていける喜びを広げています。

そうしたとき、私は、私の中にたくさんの宇宙達の思いを感じることができます。嬉しいです。ともに歩いていける喜びを感じています。

田池留吉、アルバートの思いも伝わってきます。

「嬉しいですね。ともに、ともに歩いていこう、温もりに帰つていこうと、あなたの中に優しさが、喜びが広がっていくのを感じます。」

田池留吉、アルバートのメッセージが届きます。

「ありがとう。ありがとう」。優しい、優しい思いが届きます。

「出会いをありがとう。出会ってくれてありがとう」。そんな思いが届きます。

お母さん、私達は、優しい、優しい母の懷の中へ帰つていけることを伝え合っています。

どんなに苦しくても、暗くても、私は喜びへ帰る存在なんだ、その思いが心から自然と流れていきます。その私から流れるエネルギーが、私の中に返ってくるんです。「喜びへ、喜びへ帰つていきましょう」。そんな思いとともに返ってきます。

今、肉を持ってこんな私と出会えていることがありがたいです。

ああ、これが私なんだ、そう思えることが幸せです。

学び始めた頃、セミナーは、全宇宙に向けて開かれているという言葉に驚きました。どういうことだろうかと思いました。それ

以後、この言葉は、私の心に残りました。そして、今は全くその通りだと嬉しく思っています。塩川香世

田池留吉です。私は、かつてセミナー会場で申しました。私は全宇宙に向けて発信していますと。

はい、その通りです。私は、全宇宙に向けて、この喜びのエネルギーを流し続けてきました。そして、私は今、さらにその思いを強めています。

次元移行。それが私の中にしっかりとある喜びのメッセージです。

次元移行へ向けて私は、真っ直ぐに突き進んでいます。

ともに帰ろうと呼びかけ続けながら、私は、しかし、ただただ前を向いて、真っ直ぐに突き進んでいくのみです。

私は、すでに次元を超えていったところからのメッセージとして、この思いを発しています。

これから的时间を、どうぞ、喜んで、喜んで、ご自分の心で受け止めていってください。意識の流れの喜び。意識の流れからのメッセージ。喜びを大きく伝えていくその流れは、すべての意識達に伝わっていくでしょう。

私は、心を見るということを伝えさせていただきました。田池留吉という一つの肉をいただき、心を見てくださいと伝えてきました。

心を見ること、そして、今は瞑想すること、瞑想をする時間を持っていくこと、その大切さを私は伝えています。

心を見ない人達、正しい瞑想をしない人達は、私の話をいくら

聞いても分かる世界ではありません。

ご自分の心で感じ分かっていく世界なんです。

実践をしてください。実践あるのみです。

心で感じ、心で分かる。そして、どんどん喜びを心に広げていく。真実の世界を広げていく。それらはすべて、それぞれにかかっています。

その支障となり行く手を阻んでいるのが、自分達が作ってきた他力の世界です。

「**他力の中を生き抜いてきた心を見てください。その愚かさに気付いてください。自分に対して心から懺悔してください。**」

私はそのように伝え続けてきました。これからも伝え続けていきます。

決して変わることのない真実。たった一つの真実をお伝えする喜び。

私は、全宇宙に向けて、その喜びを発信しています。

他力の反省をと言われても、どうすればいいのか分からぬと言う方がまだ多いようです。他力の神々をしっかり握っていませんか。他力どっぷりでは到底分かりません。己が偉くてその心を見たくないのではないでしょうか。

他力の世界はブラック、最後は哀れ、さらに救いのない苦界に沈んでいくしかないでしょう。正しい瞑想を通して、母の温もりを知り、自分自身が温もりだと気付くことが、他力の間違い、愚かさに気付く道筋です。どうぞ、一日でも早く気付いてください。でないと、いつの日にか、この学びから離れていくことになるで

しよう。

これから地球上に展開していく出来事を心で感じたならば、今、肉を持って学ぶ時間を用意しているありがたさ、すごさもまた本当に分かってくるのではないしょうか。 塩川香世

これから、転生をするということは天変地異に遭遇していくということです。何しろ、次元移行の流れは300年と語っています。猶予はありません。それほど差し迫っている、時間はないということが、どれだけの人達の心に響いているか分かりません。今世、学ぶチャンスを自ら用意した人達でさえ、ほとんどの人達がまだきちんと自分の道を見出せずにいる現状です。セミナーに足繁く通っても、他力のエネルギーを自分の中でしっかりと包んでいくことができずに、いまだにそのエネルギーに翻弄されている始末です。

それほど他力の中に沈んできた歴史の長さ、重さということでしょうが、それではあまりにも自分に対して悲しいです。

自分に冷たく聳え立ってきたことが心で分からずに、今世の肉もまた置いていく人達が多くいることに、私は何とも悲しく切ない思いを抱かずにはいられません。

しかし、私は、自分の中から伝わってくるように、ただ前を向いて、淡々と、しかし、ひたすらに宇宙に思いを向けて、次元移行のメッセージを伝えていくのみです。

それが、私が今世肉を持ってきた理由でもあるし、250年後

の肉を持ってくる理由でもあります。

だから、私は私のるべきことをしていく、ただそれだけ。その思いが宇宙に対して仕事をしていくのだと自覚しています。

いよいよ明日から5月。今年度のセミナーが始まります。**テーマは愛。** 愛とは、愛を宇宙に流していきましょう。

私は、あなたの心の中にいつも存在しています。肉の私ではありません。そして、いつもあなたに私の波動を伝えています。いつもあなたに語り掛けています。いつもあなたにメッセージを伝えています。どうぞ、私に心を向け、私の波動を、メッセージを受けてください。そして、次元移行に向けて前進していってください。

そのためには、私が伝えてきました指針に従って、反省と瞑想を実行してください。私は、いつもあなたの疑問に答えていきます。いつもあなたに、どうして学びを進めていけないのか、どのように学びを進めていけばよいのか、その都度、正しい学び方を伝えていきます。

心新たに、いつも一年生を忘れずに、焦らず、弛むことなく、真摯に学んでいってください。必ず、愛が見えてきます。見えるとは、心にその波動を感じ、愛とは何かが分かってくるということです。

田池留吉、アルバートとの対話 塩川香世

今日の瞑想の感想はどうでしたでしょうか。

私の心は、宇宙を思います。宇宙に思いを向けて私は瞑想を続けます。

瞑想をする時間が本当に嬉しいです。心の中に喜びが湧いてきます。私の中に本当にありがとうの思いが湧いてきます。優しい私を感じます。

瞑想の感想はいつもこうなんです。

私は私を感じている喜びがあります。ああ、私は私の中に広がっていく世界を感じています。

田池留吉を呼ぶとき、アルバートと思うとき、本当に嬉しいです。意識の世界にある私、意識の私を感じます。

今、肉を持って瞑想をしています。私はこの肉がなくても同じです。私は肉がなくても同じ。私の心は、田池留吉、アルバートを呼びます。

伝わってきます。広がっていく私を感じます。

田池留吉、アルバート。何か伝えていただけますか。

田池留吉です。私はあなたに伝えることはありません。言葉はありません。ただ、私のほうに心を向けなさい。私の波動を心に感じていくことをしていけばいいんです。

私のほうに心を向け、私の世界を感じていけば、あなたのうちに自然と私が語っていきます。私のメッセージというのは私の波動です。

私の世界です。私の世界を心に感じていける喜びです。私はそれをただただ伝えています。

私があなたにお伝えするメッセージは、何もありません。ただこの波動の世界を心で感じていける喜び、その喜びをともにしていってください。ただそれだけを伝えています。

田池留吉、私は、次元を超えてともに歩んでいく喜びを心に感じています。心に待ち続けてきたことが、今、現実となって私の中に広がっています。

はい、はい、分かりました。私はあなたから思いを感じています。ああ、心の中に広がる喜びです。私はこの喜びを心に広げてまいります。

私がお伝えできるのはこの世界です。この波動の世界です。どうぞ、私をどんどん感じていってください。それがあなたに対するメッセージです。

田池留吉、私は「意識の転回」という本を、もう一度自分の心で読み直します。おそらく私は何かを追加したり、少し削ったりすると思いますが、新たに一つの項目を設けていくでしょう。

私の心の中に今、感じている喜びの世界、喜びの波動を伝えていけるようになっていくと思います。

これを言葉に表すならば、

「私は意識の転回をするために生まれてきた意識。ともに、ともに歩いていく喜びを感じている意識。私はその意識の世界から

メッセージを送ります。このメッセージを聞いてください。の中に喜びがありました。温もりがありました。ともに帰っていく宇宙達がいます。この宇宙達とともに喜びの世界、母なる宇宙に帰れる私のこの時間を、今ここではっきりと感じていただいています。」

私はこのメッセージを「意識の転回」という本に乗せて文章を付け足すでしょう。

私は今、そのように感じさせていただきました。

田池留吉、アルバート。意識の世界の中で語り合える喜び。喜び、喜びです。私はあなたの世界と通じている。このことをしっかりと心に広げて私のこれからの中の人生、そして、肉を持たない時間、そして再び肉を持ってあなたと出会える時間、私はこうして時を過ごしてまいります。

次元を超えていく私の中には喜びしかありません。苦しかった中に私は喜びを広げています。間違い続けてきた中に、私は喜びを広げています。心をしっかりと見つめなさいとあなたに伝えていただいた通り、私は自分の中を見つめてまいりました。優しい母の懐の中で、私は狂い続けてきた、間違い続けてきた自分を見つめました。

私のセミナーに対する思いは本当にすごかったです。

学ばせていただきました。この肉体を通して充分に学ばせていただきました。本当に嬉しい時間をいただきました。この心の中から今、その喜びがどんどんどんどん出てきます。

心の中をしっかりと見つめてきた私にとって、他力のエネルギー

ーを自分の中にはっきりと感じ、そのエネルギーを喜びの、元あった姿に戻していく喜びを今、心に感じています。

宇宙は待っていると私は伝えました。そうです。私達の宇宙は待っています。心の中でしっかりと両手を広げて待ち続けてきた宇宙に、私は心から、この思いとともに応えていっています。

本当に嬉しい時間をいただいている。喜びの時間をいただいている。肉を持っている間、持っていない間、私はこの喜びとともに存在していけます。

はい、田池留吉とともに歩いてく、アルバートとともに歩いてくこの喜びを私の中から素直に、素直に全開してまいります。

自分のために生きる ということについて 塩川香世

自分のために生きる喜びを心に感じています。

自分のために生きる喜び。ああ、本当に自分の中にたくさんの自分がいて、その自分を思うこと、その自分とともにこれから時間を使うこと、それが自分のために生きる喜びに繋がっていきます。

自分のために生きる喜び。ああ、私はこの喜びを心の中にずっと、ずっと広げていきたかったんです。

自分のために生きるとはどういうことか。

人のために生きる。社会のために生きる。人の喜ぶ顔を見たい。人を愛することが自分の喜びとなる。それらは、自分のために生きる喜びをまず心で分からなければ、みんな偽善でした。偽善の

中から真の喜びは生まれてきません。真の幸せも生まれてきません。そのことを学ばせていただきました。

そして、本当に自分のために生きる喜びを味わうには、自分を知っていくことが必要でした。

自分を知っていく喜び。

自分を本当に知っていき、自分のために今、自分は何をしてあげられるのか。それを真剣に真摯な思いで追及していく。そういう肉の時間を過ごしていく。それがまさに生きるということでした。そして、それは、自分の心を見つめていかなければできないことでした。

自分の心を見つめていく。自分の中にあったエネルギーをどんどん知っていく。自分のために生きる喜びは、そうして初めて感じられるのです。

自分のために、本当に自分のために生きる喜びを感じていったとき、そのエネルギーが喜びとなって流れていきますね。

本当に自分のために生きる喜びを心で感じていけば、それは喜びのエネルギーとなって周りに流れていきます。それが周りのためになっていくんですね。ためになっていく、真実、本当の意味でためになります。

優しさ、温もり。人を愛すること。自分を愛すること。その意味が自分のために生きてこそ、分かってくるんだと思います。

自分のために生きる大切さ。その優しさ、幸せは、私達にはなかなか分かりませんでした。

自分のために生きるということは、自己中心的な、わがまま気ままな生き方、そういうふうにとらえてきました。しかし、本当

に自分のために生きることを知つていったなら、自分のために生きてこそ初めて、優しくなれるんだ。人を愛することもできるんだ。本当の優しさ、本当の温もりが分かってくるんだ。そういうことを学ばせていただきました。

人は肉体を置いたあと、自分から語ることができますか。 塩川香世

田池留吉です。まず無理でしょう。難しいです。自分から語るということは難しいです。肉体を置いたその瞬間から自分のエネルギーが覆いかぶさってきます。それは一瞬のうちです。語ることは難しいです。それがほとんどの人です。

私は、今、肉体があるときに、自分の死後と対話してくださいということを伝えました。

皆さん、どうでしょうか。自分の死後、死後の自分と対話することをやってこられましたか。語ることは難しいんです。自分から語ることは難しい。そのことを私はそれぞれの心で学んでいっていただきたいと思います。

たとえば、こちらからその死んだ人に向かって、あなたはもう死んだんですよ。そうお伝えして、どうぞ語ってみてくださいと伝えたとき、伝えるこちら側が、本当に意識の世界を感じ信じ、そして、自分の中の温もりが心から出ているならば、それはその語りかける意識に通じます。

しかし、向こうから自分の思いを自ら語ってくるということは

難しいです。

語ることすらできないほどのエネルギー、それは自分ですが、そのエネルギーに押しつぶされるかのように固まってしまう、それが現実だと思います。

皆さん、一様に甘いです。自分の死後と語ることを、今、ぜひしてみてください。

あなたがあなたに伝えることができるのは、あなたが今、肉を持っているこの時だけです。肉を離したあと、意識だけの自分になったときに、自分から語れる、自ら語ることは難しいことを、今、知ってください。

そうしたとき、本当にそれが心で感じられたとき、では、今、肉を持っている時間、何をどうしていくべきなのか、真剣に自分に思いを向けていくでしょう。

私は、250年後、もう一度肉を持って生まれてきますが、そのときは私にはこれといったものは何も用意しません。

ただ自分の中の喜びのエネルギーを噴射するべく黒い肌を持つて、差別社会へ出てきます。

それが私にとって、何よりの贈り物です。たった一つの目的のために、肉を持ってくる私にとって、あとは何も要らないのです。

もう私達にはもう刻限が迫っているからです。仕事を完璧に遂行していくために、私は250年後に生まれてくることを、瞑想の中で確認しています。

嬉しいです。本当に嬉しいです。

その間、私は私を包みながら、そのエネルギーが宇宙に流れていき、仕事をしていくこともまた、瞑想の中で確認させていただいている。

確実に仕事をしていくために、必要なものだけを精選して、250年後の肉を持ってくる私に、ただただよろしく、ありがとうございます。

本当に嬉しい。本当に嬉しいです。 塩川香世

すべては私の想定内のもの、すべては自己選択・自己責任と言えるもの、すべては必然、計画したものばかり、それは喜び、喜びでした。私の人生は不思議、不思議…、すべて愛、愛、愛…でした。私の人生は波瀾万丈だったと思われるものかもしれません、私ほど幸せなものはいなかつたと思っています。

私は、人生半ばにして自分に目覚めました。愚昧だったからよかったです、何も本当のことが分かっていなくてよかったですとしみじみ思っています。だから本当の自分に目覚めることができたと思っています。神も、仏も、聖者も、聖書・教典も、預言者・超能力者と言われているものも、すべてすべて、私から消え去っていきました。偽物の私、肉を持って握った私はほとんど消えていくような今日です。ほとんど毎日、本物の私と仕事をしています。こんな幸せ、喜びはすべて想定内のものだったと思っています。

意識の流れは、着実に次元移行に向かって流れています。そして、次元移行は成就しました。人間達も喜び、喜び、手を真っ直ぐ上に、どんどん喜びが広がっていきます。三次元ありがとうございます、

満面の笑顔、笑顔。人類もやっと愛に目覚めました。

私、私達の仕事は、更に進んでいきます。田池留吉、アルバートの世界は無限、ともに進んでいきましょう。どうぞ。

私はあなた、あなたは私、一つ、愛です。

無限に続く旅、いつまでも一緒、いいですね。

意識の流れに委ねていってください。 意識の流れ、委ねる、このことは頭ではとても理解できません。心でしか分かりません。簡単に、はい、そうしますで委ねられるものではありません。では、どうすればいいのかと言えば、正しい瞑想を続けていき、田池留吉の世界、無限大に広がっていく世界を知っていくようにしていけばいいのです。その時、あなたの世界も無限に大きくなっていくことが分かってくるようになります。そのようになっていけば、意識の流れも、委ねるということも、あなたの心でしっかりと分かってきます。

要は、田池留吉の世界をどんどん分かっていくような学びを進めていくことです。

正しい瞑想ですよ、毎日続けてください。

喜んでこれからの転生を迎えていきましょう。喜んでこれからの転生を迎えていってください。 そして、250年後、今世この学びに集った人達、できるだけ多くの人達と再会をしたいと思います。心からそのように思います。

私達はこれから的时间、この地球上にメッセージを送ります。
「ともに帰りましょう。温もりへ帰りましょう。本当の自分の世界へ帰りましょう。」

私達はそのメッセージを送り続けます。

田池留吉は言いました。アルバートは言いました。

「心を宇宙に向けなさい。あなたのにある宇宙に心に向けて、その宇宙を呼び、その宇宙とともに、私達とともに歩いていく道をしっかり学んでいきましょう」。そのように伝えていただきました。

これから的时间、すべては、自分自身にかかっています。ともに歩みを進めていけるか、それともそうでないか、本当に大変な時間を迎ますが、できるだけ多くの意識達とともに私は、次元を超えていきたいと思っています。

今、肉を持っていない意識達にも、もちろん伝え続けます。

「喜びは自分の中にありました。温もりは自分の中にありました。ともに歩める喜びを、どうぞ、どうぞ心で感じていきましょう。」

私達はそのように、これから的时间、喜びのエネルギーを流してまいります。 塩川香世

あなたは、ほんとうに、田池留吉、アルバートを呼べますか。心を向けている、合わせている、委ねていると思っているだけではないでしょうか。

「私は、本もしっかり読んでいます、田池留吉に心を向け、合

わせ、委ねる瞑想もしっかりとやっています、田池留吉、アルバートのメッセージも受けています」と言っている方が多いようですが、その方々、死後の自分と語ってみてください。死後、田池留吉、アルバートを呼べない方は、現在も呼べないと思ってください。そして、指針に従って学びを正しくし進めていってください。

死後の自分と語ってくださいということですが、死後の自分と語るということはどういうことか、どうすれば死後の自分と語ることができなのか、という思いが、皆さんから伝わってきます。それについて答えてみてください。 塩川香世

田池留吉です。死後の自分と語るということは、今、自分の中で自分と対話するということです。

今、それぞれの肉体を持っている今という時、自分なりに田池留吉と心に呼び、お母さんと心に呼び、そちらのほうに心を向けた状態で、自分のほうに心を向けるんです。

自分の中と対話するんです。自分に聞いていくんです。

「あなたは、今苦しいですか。どんなところにいますか。あなたはお母さんをどのように思ってきましたか。あなたは今、どんな状態でしょうか」。たとえば、こういうことを自分に尋ねてみるんです。

何も思いが伝わってこない。何も答えが返ってこない。そういうこともあるでしょう。

それは、語ることすらできない、本当に固まった中にいるのか

かもしれません。

それでも、死後の自分と語りなさいと言われば、それを毎日、毎日、繰り返してください。

「寂しくないですか。苦しくないですか。寒くないですか。」

無言の自分に話しかけてみてください。

誰に言うのでもありません。自分に自分が尋ねるんです。何度も、何度もそれを繰り返してください。

そうしていくうちに、ほんの少しずつかもしませんが、何かを語りたい、語っている、訴えている、そんな思いが心に響いてくるはずです。

なぜならば、みんな苦しみの中から救いを求めているからです。

自分に優しく問いかける、自分に優しい思いを流す、死後の自分を思うということ、それは、本当に自分に愛しい思いがあることを感じていく作業なんです。

たくさん言葉は要りません。苦しかった…。寂しかった…。

たった一言でも自分の声を心に聞いてあげることができたならば、嬉しいと思います。優しい思いを自分に流していく嬉しさ、心から上がってくるのではないでしょうか。

瞑想は波動を感じる時間です。私は、だから瞑想が喜びです。

田池留吉、アルバートと思うと、心が広がっていきます。たくさんの自分が一斉にそう呼んでいるのが分かります。

田池留吉、アルバートの思いが心に広がっていくのが分かります。そして、それが私なんです。私の中に、優しさと温もりと喜

び、本当に嬉しい思いが広がっていきます。

私はあなた、あなたは私、一つ。ああ、そう伝わってくる喜びです。

向ける、合わせる、委ねる、その幸せを心に感じます。

私は私に伝えています。今、そのことを感じます。私が私に伝えています。一生懸命に伝えています。ともに歩いていこうと伝えています。

そうすると、嬉しい、嬉しい、ありがとう、ありがとうござります、お母さんありがとう、そのように返ってきます。

私は、この世界に生きています。中に喜びがありました。温もりがありました。私はこの世界に生きています。

肉がなくても、田池留吉、アルバートを呼べるということは、本当に幸せなことです。自分の中で自分を包んでいけるということだから。自分にこの思いを伝えることができるということだから。だから、私は、ずっと幸せだということ。ただただ嬉しいです。

絶対に自分を裏切らず、自分を見離さず、自分を切り捨てない。その強い決意のもとに今ここにいることを、瞑想をするたびに感じます。心に響きます。その自分の思いが、本当に嬉しい思いが響いてきます。

このまま、真っ直ぐに自分を進めていけばいいと私は知っています。

今世、ようやく、自分に委ねる幸せに出会いました。田池留吉、アルバートと素直に喜びで呼べる私に、今世ようやく出会えました。 塩川香世

瞼を閉じて、中の目を開いて、田池留吉の目を見る。 塩川香世

私は、今、田池留吉、アルバートの目を真っ直ぐに見つめています。しっかりと見つめています。

ともに歩いていこうと呼びかけてくれた田池留吉の目を見つめています。アルバートの目を見つめています。

心が広がっていきます。田池留吉、ありがとうございます。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。

ともに歩いていこう、その呼びかけに私は素直に力強く応じていくことができます。ありがとうございます。ただただありがとうございます。

瞼を閉じて、中の目を開き、田池留吉、アルバートの目を見る私の中に、本当に嬉しい、ありがとうの思いが広がっていきます。

はい、この中にしか真実はありませんでした。この目を感じながら、私は私の世界を見つめています。嬉しいです。この目を感じながら、私を見つめていけることが嬉しいです。ともに存在している喜び、ともに生きていく喜び、はい、その喜びを感じます。

田池留吉、アルバート、ありがとうございます。

私は、今世、ここまで変わらせていただきました。本当に夢を見ているようです。私の意識の世界、私自身を心で感じ、本当に嬉しいと心から湧き起こってくる喜びがあります。

田池留吉、アルバート、私は、今世まだ肉を持つ時間を用意しています。その間、世の中の出来事を見たり、聞いたり、そして

感じていくことにより、私の世界はさらに奥深く喜びを見出していくでしょう。

私は、私の心の中に真実、田池留吉、アルバートの世界、母なる宇宙があることを確信しています。

その私の中が、今世、もう少し学びなさい、そして、肉のない間もしっかりと学び、喜びの思いを広げ、感じ、そして、それを250年後に、一気に噴射していくようにということです。

私は、その思いに従って、ただ我が道を淡々と進めていきます。本当に嬉しいです。ありがとうございます。

私は、**今自分に委ねる喜びを心に広げています**。自分に委ねる喜び、自分を信じられる喜び、心の中からどんどん出てきます。

塩川香世

私の中に、本当に喜びと温もりの優しい思いがありました。

自分に自分を委ねていく喜び。そうだったんです。私は私に委ねていける、これでよかったです。私を私の中に委ねていけることが喜びの道でした。私は、今、瞑想をする時間の中で、自分に委ねていく幸せを心に広げています。

心に広がっていく喜びは、本当に大きな、大きな世界でした。

私の中に、今、その世界が広がっていきます。

自分を裏切り続けてきたけれど、ようやく今世、私は自分に自分を委ねていく喜びと幸せを心に広げられるようになりました。

こんな幸せなことはありません。こんな喜びはありません。自分を信じていける、自分に委ねていける幸せ、ああ、こんな嬉しいことはなかったです。

言葉は要らない。何也要らない。ただこの喜び、温もりの世界がある。心で感じられる世界がある。私には何も要らなかった。

優しい、優しい私が広がっていく。

母のお腹にいる頃の波動を感じています。お母さん、お母さん、ありがとう。 塩川香世

どんな肉でもよかった、肉を持てるだけで幸せだった、肉を持つことを切望してきた自分の心が伝わってきます。

本当に肉をもらって喜んでいくことができたのは、今世が最初でした。 塩川香世

生まれてくることをこんなに切望してきた自分と出会えたことは、本当に幸せです。

自分の心の叫びを聞いてあげられる優しさが私の中にあったことを、今世学ばせていただきました。この肉があればこそその学びでした。

私の意識の世界に心を馳せる喜びを、本当に初めて知ったのでした。

何度も、何度も自分のエネルギーと出会い、この肉を通して、その自分と出会わせていただき、心の叫びを出させていただきました。

この上ない幸せの時間と空間をいただいたことに、感謝です。

これまで宇宙にヘドロをまき散らしてきた分、私は、自分のすべてを懸けてその回収をしていきますと自分に約束したこと、私はその約束を絶対に^{ほこ}反故にすることはできませんでした。

瞑想をすればするほどその思いが心に上がってきます。

だから、瞑想する時間は私にとって、本当に喜びとなっています。

私が私に伝えられる喜び、温もり、幸せを私自身心に感じています。こんな時間を今、いただけたことが嬉しいです。

肉を持つのは、自分の間違いに自分で気付くためです。 塩川
香世

自分がどれだけの間違いをしてきたのか、そのことに自分で気付くために、みんな肉を持ちます。そして、環境を設定します。

自分の間違いに気付いていけるような環境の中で時を過ごします。

幸せな人生とは、自分の間違いに気付けることを言うんだと分かってきます。

しかし、自分の心を見る、自分の中から出てくるエネルギーを確認することを知らなければ、またまたピント外れの時間を過ごしていくことになります。自分を振り返る、自分の生き様を振り返ることをどこかで見聞きしたとして、仮にそのようにやってみても、自分が出し続けてきたエネルギーのすごさを心で実感するところまでいくのは難しいでしょう。

そうしていくと、今世、自分の心を見るという学びに繋がったことは、本当にどれだけすごいことなのかということです。

「母に使ってきた心を見なさい」。これは本当にすごいメッセージでした。

すごいとしか表現できません。自分で自分の背中を押し、拒み続けてきた母の意識、温もりに対して、それを真っ直ぐに自分の中にとらえるように仕向けた自分というものは、すごい存在だと感じます。

自分が自分に仕向けた、仕掛けたことが、本当に今、喜びとして私の心に響いてきています。

瞑想をする時間は、そのことを明確に自分に伝えてくれる時間となりました。

自分に思いを向けることがたまらなく嬉しいです。

肉への執着について語ってみてください。 塩川香世

田池留吉です。私は今、肉を持っています。肉を持っている以上、肉の思い、肉に対する思いを全くゼロにすることは不可能です。私はそのことを心得ながら、今、生活をしています。肉の生活もまた楽しんでいます。しかし、それは執着にはなっていません。ただ、肉への執着が全くないかと言えば、全くないとは言えません。私は、その思いを淡々と見つめています。

私は、ただただ意識の流れ、次元移行を見つめ、目指し、その内で肉を持っているこの今の時間を、私なりに楽しく過ごさせ

ていただいている。もちろん、肉的には色々なことがあります。身体的にも色々あります。あつたらあつたで私は私の心を見るだけです。

私は、この肉を離す前、自分のその肉の思いを綺麗にしっかりと見つめ、そして、肉を離していきます。肉を離してから、私は、この自分の意識の世界に、肉の思いを持ち込むことはありません。

肉への執着が、今は全くゼロにはできませんが、私は自分が死んだ瞬間、この肉への思いをさっと拭い切れるほど、肉を持っている間に心をしっかりと見つめていきます。

私は、そうして肉を離して、意識の世界の私がただただ広がっていくのです。だから、その私の意識の世界と交信しようと思えば、もちろん、向ける側の様子で違ってくるのです。

私は波動です。私は波動を伝えているだけです。この波動をキヤッチできるかどうかは、それぞれの意識の世界にかかっているということです。肉の思いが強い人は、肉の田池留吉の思いをそのまま受けているだけです。

私は波動です。この波動の世界を心で感じようと思い、またそうできるのは、心をしっかりと見つめ、肉の思いを限りなくゼロに近づけることが肝要です。

田池留吉が肉を持っていたときと、持っていないときと、自分の学び方はどう違うか。それぞれが自分で評価していってください。

私の学び方は違っていた。私の学びはズレていた。肉、肉でした。私の死後、そう素直に評価できるのも、その人にとっては、一つの大きな一歩だと思います。

できれば私が肉を持っている間に、限りなくゼロに近い私の心に、向ける、合わせる、委ねる、そのような学び方をなさってくださるよう、私は切に思っています。

自分に尋ねました。あなたは**愛の放射塔**でしょうか。　塩川香世

私は、愛の放射塔です。私は自分にそのように伝えています。

そして、それは必ず現象化してまいります。

私は、今世、今の肉体をいただき、自分に目覚めました。そして私は今、宇宙を思う瞑想を続けています。宇宙に愛を流す仕事をしています。私は愛の放射塔だと伝わってきます。本当に私の中に愛を流す喜びがあったんです。私は温もりでした。私は喜びでした。そのように伝わってきます。

これから250年に至る時間、愛が流れていきます。今世を境に本物の愛が流れ出します。そんな宇宙を私は確実に心にとらえています。愛が流れ出していくんです。本物の愛です。愛を放射する、私はその喜びを心に感じています。

私の意識の世界は、これから250年に至る時間の中で、どんどんどんどん宇宙に流れていきます。肉を持つ、持たないに関係なく、意識達に次元移行のメッセージを伝えていける、それが愛の放射塔だと私の中に伝わってくるのです。

愛を流す仕事、愛を流すエネルギーが自分だったと心で気付き、心で感じている中に私は存在しています。

はい、田池留吉、アルバートとともに私は存在しています。意識の世界の私を感じて、私は今とても大きな、大きな世界を感じます。その中から私は肉の世界を見つめています。

まだ私には肉を必要とする時間があります。今世、まだ肉を必要とし、私は私の学びをしてまいります。

そして、このように瞑想を続け、宇宙に喜びのエネルギーを流していく、そんな私の意識の世界です。

私は、田池留吉、アルバートの波動を流していく意識です。

心の中に喜びが、温もりが広がっていくのが分かります。田池留吉、アルバートの世界を心に感じ、私はその世界をこの心から流しています。

そうする私の中には何も遮るものはありません。

ただ心を向け、合わせれば、私の中から流れていくエネルギー、ああ、それが田池留吉、アルバートのエネルギー。私は心に感じています。

心に感じ、その世界を私の中から流していける喜びを感じています。

真実の世界からのメッセージを確かに受け取りました。今世受け取りました。あとはそれぞれがそれぞれの転生をどのように繋いでいくか、それだけです。そして、それはそれぞれにかかるています。 塩川香世

私は、私の勉強をしてまいります。私の学びをしてまいります。

意識の世界の歩みを淡々と進めていくだけです。

私は確かに真実のメッセージを受け取りました。

真実の世界からのメッセージを受け取った心の中に、確かな思いが限りなく広がっていきます。本当に嬉しいです。今世この時、今という時間、本当に嬉しい時間を過ごさせていただいている。

嬉しいというよりも力強い自分のエネルギーを感じます。力強い存在を感じます。宇宙を感じます。これから的时间を感じます。それがただただ私の嬉しい喜びとなって、心に広がっていきます。

現象を通し学びに繋がった、つまり肉の田池留吉との出会いを果たした。今世も、私には、それがほぼ自分の計画の大半だったように思います。今世、そこまで行けば、私の今世の計画はほぼ予定通りに進行していくほどの決意はあった、そういうことだったと思います。

私には今世しかなかった。本当に今世しかなかった。今世がダメならすべては闇の中。その私の決意のもとに計画してきた時間が今世でした。

みんなそれぞれにシナリオは違うけれども、平等に公平にあるのは、250年、300年という時間です。

その時間は、すべての意識達に平等です。 塩川香世

250年、300年という時間の中でいかに自分を正しい方向に導いていくか、次元移行の流れに従っていけるか、それはそれ

ぞれの心にかかっているけれども、その時間が与えられているのは、すべての意識に共通するところです。

自らを目覚めさせるためのシナリオは、それぞれに用意しています。その時間が250年、300年ということです。

そこに思いを向けたとき、ただただ喜びが湧いてくるのではないか。どんなに地獄の底で喘ぎ苦しみ続けてきても、自分に与えた250年、300年という時間があります。本当に素晴らしい時間の中を通過していく喜びを心で感じていきましょう。

瞑想を続けていけば、それが心で分かります。

どんなに厳しい転生が待っていたとしても、自分を目覚めさせるチャンスを自ら作り出していることを心で知るからです。

どうぞ、これから的时间に思いを馳せて、自分の次の転生に繋いでいけるような今世であってください。

「本当に次の転生に繋いでいけるように、今世この時を過ごす」一番自分に自分が伝えたいメッセージだと思います。

自分を繋いでいく喜び、責任の重さ、今、しっかりと心で感じていきましょう。

肉の世界は、想定内、想定外とあるようですが、意識の世界、意識の流れについてはどうでしょうか。 塩川香世

意識の流れの中には想定外ということはありません。すべて想定内のことです。すべてが計画されています。予定通りの流れに

なっています。

それぞれの中では、計画倒れということはあるかもしれません。そして、それが、想定外という判断をされるならば、それは想定外かもしれません。しかし、意識の流れの本流には想定外ということは設定されておりません。すべてが想定内の出来事です。想定内で、意識の流れが順調に流れている、だからこそ、次元移行を達成することができるのです。

意識の流れに想定外はありません。先にも申しましたが、それぞれの中ではそれはあるかもしれません、しかし、意識の流れの中心部分で想定外という、そういう予期もしないことはありません。想定内です。すべてが想定内です。

今もまさに、想定内で、意識の流れは順調に滞りなく流れていることをお伝えします。

あなたが今そこに存在して、あなたの状態が今そのような状態であるのも、想定内です。あなたが今、心で感じている世界も意識の流れの中における想定内のことです。

あなたがその道を淡々と進んでいくのも想定内の出来事です。

だからこそ、私はあなたにすべてを賭けてきました。あなたという人、と言っても肉のあなたということではありません。あなたの意識、あなたの意識の世界に、すべてを賭けて私は今、ともに歩んでいます。

あなたは私とともに歩いていくことを喜びとしていると伝えました。すべては想定内の出来事だからです。予定通り何の狂いもなく、流れていく意識の流れをともに感じている喜びは、あなたの心に届いていると思います。私が申し伝えたこと、それをあな

たは淡々とこなしていくだけです。

また、そうできるような状態にあなたはなっています。

気張ることなく、焦らず、弛^{たゆ}まず、私がいつもあなたに申し上げている通りに、あなたは進んでいけばいいのです。すべては想定内だからこそ、今、私とあなたが出会い、そしてこのように、心と心で語り合える喜びを感じていけるのです。

学びで一番大切なことは何でしょうか。 塩川香世

心で田池留吉の波動を知ること、波動の違いを知ることです。それは心で感じること、心でしか分からぬ世界です。

田池留吉の波動を心で知ること、それに尽きます。それに尽きますが、では、田池留吉の波動を心で知るには、どうすればいいのかということになれば、すべてが繋がっていることをまず分かっていただきたいと思います。それを語ってみます。

まずは、素直になることです。そして、お母さんの反省をしつかりとすることです。

お母さんの反省とはどういうことかと、そこからまず出発すること、それが一番の近道です。

お母さんの反省ができなければ、自分に懺悔することはできません。自分に懺悔できなければ、自分を解き放つことができない。自分を解き放つことができなければ、いつまでも苦しみの中なのです。ということで、みんな母の反省を軸に繋がっているのです。

お母さんに対して、いまだによからぬ思いを抱く人は、全く何も分かっていないということです。田池留吉の波動を自分自身で遮っているんです。

田池留吉の世界は、あなた自身です。あなた自身は喜び、安らぎ、柔らかな温かな、温かな母の温もりの中にある、私はそのように伝えてきました。その世界に対して、真っ向から歯向かうエネルギーを自分の中に蓄えてきた、ずっとそういう転生を繰り返してきたことを心で本当に知っていくことが、自分自身の懺悔に繋がっていきます。

自分自身に懺悔していく、そして、自分に、本当の自分に蘇っていく、それには、田池留吉を心に本当に呼べるあなたでなければなりません。

田池留吉を心で呼ぶには、まず母の反省です。母の反省を通して、自分の中の他力の心、他力のエネルギーを追い求めてきた愚かな自分を感じていかなければなりません。そして、その自分を感じたならば、その愚かな自分に母の温もりを伝えていくこと、母の温もりで愚かな自分を包んでいくことをやっていきます。

それがなければ、他力の自分を解き放つことはできません。自分を解き放つことができなければ、田池留吉の波動を心で感じることはできません。田池留吉の波動を心で感じることができなければ、何も分からない状態です。何も分からない状態だということはどういうことか。

自分自身がどこにいるのか、どういう状態であるのか、そういうことが全く分からないということです。分からない、分からぬいで、時間が過ぎ去り、またしても今の肉を置いていくことにな

るのです。それが地獄から出てきて地獄へ帰るという限りなく続く苦しみの転生です。

だから、その苦しみから自分を解き放つには、自分に素直になって、しっかりと本を読み、田池留吉の指示示す方向に心を向け、母の反省を続け、瞑想を続けていくことです。田池留吉と素直に呼べるまで、それを淡々と焦らず、弛まず、継続していくこと、それしかありません。

自分に懺悔するということについて、もう少し語ってみてください。　塩川香世

自分が自分に懺悔する喜びを感じていってほしいんです。自分に自分が懺悔できる喜びです。それは、心の中に本当の優しさと温もりを思い出さなければできません。

長い、長い間、苦しみ続けてきた自分を放りっぱなしにしてきたこと、本当の自分を知らずに、苦しみの中に自分を突き落としてきたこと、母の温もりを心で感じ始めてくると、本当に申し訳なかったと心に響いてくるんです。

「ごめんなさい。申し訳ありませんでした。こんなに、私は安らぎの、喜びの中に包まれていたのに、その自分を何も知らずに、そして、自分を見捨ててきた自分なのに、私は見捨てられた、裏切られた、いつも、いつも、その思いを心に大きく広げてきたんだ。私こそ、素晴らしい、正しい、立派、間違っていない、そんな思いばかりを広げてきた。その思いこそが、自分を本当に苦し

みの中に突き落としてきた。」

そういうことが心に響いてくるんです。

懺悔しなければならない、そうではなく、自然と心から懺悔する思いが湧いて出てくるんです。その中で、どれだけ自分に冷たかったことか、そういう思いもつぶさに感じてきます。冷たくて凍える中に、本当に私は自分をそんな中に、押し込め、留め、踏みつけにしてきた。他でもない自分をそんな目に遭わせてきたんだ。そういうことが本当に心に響いてきます。

それは、母の思い、母の本当の思いを心に感じ始めたら、自然と分かってきます。自分に自分が懺悔できる喜びが、心に湧いて出てくるんです。懺悔できる喜びです。懺悔とは喜びに繋がっていくんです。

すごいエネルギーを垂れ流してきた自分に、ようやく巡り会えた喜びが懺悔の思いとともに浮かび上がってきます。

私は自分に懺悔する喜びを、本当に心で感じていってくださいと伝えています。

何も求めることはありませんでした。我を認めよ、我一番、パワーをくれ、救ってくれ、本当に、何と愚かなエネルギーを垂れ流してきたことか、懺悔する中で、心で感じていってください。自分に自分が懺悔できる、これほど嬉しいことはありません。

母の温もりを感じ、そして、田池留吉と心で呼べる幸せを、懺悔するあなたの心は限りなく感じていくでしょう。

Xさん、天国とは闇を恐れる人のおとぎ話であると、そして、

あなたは死後の世界を否定されました。あなたの心は、今どのような状態でしょうか。思いを聞かせてください。 塩川香世

私はXです。はい、進行性の難病で、私は長い年月、苦しみとともに味わっています。死を恐れることはないと言いました。しかし、私の中に死後の世界がないと思うその思いは、死を恐れる思いから出てきます。

私は、この自分が消滅するのをとても恐れています。

人の心の中には、闇が存在することを私は感じています。闇の部分が私の死後、私を襲ってくると私は感じているんです。

その恐怖から、私は、この自分の肉体をなくすことに、とても恐怖しています。その恐怖から、死後の世界はないと自分に言い聞かせていきたい、そのように感じているんです。

死後の世界、私は考えたくはありません。私はとても今、苦しい中 있습니다。確かに私のこの思考する脳は素晴らしいです。私は素晴らしい脳を持って生れてきました。しかし、この身体は進行性の難病に侵されて、私は本当に若い時から、自分の肉体を疎ましく思ってきました。

そして、今の歳になって、ふっと自分が若い時、難病と向き合ってきた死を恐怖する思いが、今、より一層現実のものとなって出てきています。

若い時は、病からいつ死ぬのかと、死とともに私はありましたが、今はその時よりも、もっと自分の死を間近に感じています。

私はこの肉体が疎ましかったけれど、この肉体がなくなれば、もちろん、私の脳は動かない。動かなければ私はどうなってしま

うのか。その先を考えたくはありません。死を恐れる思いから、死後の世界を否定してきました。考えたくはなかったんです。思いたくはなかった。

ですが、今、あなたの死後の世界はあるんですよ。あなたは、その肉体があってもなくても、そこに今、存在しています。それがあなたの死後であり、あなたの今であります。そういうメッセージが届きます。

そんなことってあるんでしょうか。私の死後は私の今？ 何ということを。私は、今初めて聞かされました。今の私が、死後の私と同じなんですか。

私は今、自分のこの肉体をとても疎ましく、そして苦しい思いで眺めています。肉体がなくなれば、この思いがなくなるのではないかでしょうか。

いいえ、あなたの肉体はなくなっても、あなたの思いはそこにそのままあるんです。あなたが自分の肉体に対して、冷たく疎ましい思いをずっと長い間、流し続けてきたその思いが、あなたの内で苦しみとなって残っています。それがあなたの内で苦しみ続けます。それが苦しみから自分を解き放つことができないということなんです。

私は、今、少しだけ素直になって、自分が死んでいくのが恐ろしいと伝えました。そう、死んでいくのが恐ろしい。疎ましい肉体でも、私は肉体がここにあるから、ここに私が存在しているという実感がある。これがなくなれば、つまり死んだ状態になれば、

私はどこに行くのだろうか。消え去って、本当に何もなくなってしまう、それを考えるのが恐ろしい。死後の世界を否定してきた私の中には、ただただ死を恐れる思いがあります。

Xさん、あなたは自分の肉体を疎ましく思ってきたと語られました。しかし、そんなあなたもゼロ歳の時があったのです。お母さんのお腹から生まれて、お母さんだけをただ見つめていた、そんな時間があったのです。

そんなあなたに、あなたは戻れるんですよ。お歳を召されているあなたも、ゼロ歳のあなたに戻れるんです。

どうぞ、あなたを産んでくださったお母さんを思い、その時、お母さんをただただ見つめていたあなたの心を感じてみてください。

ああ、お母さん、お母さん、お母さん。私はこんなにお母さんに包まれて、お母さんの優しい眼差しの中に安らいでいたのに、私は、自分のこの肉体の疎ましさから、母を憎んできました。こんな身体を私に授けた母を憎んできました。すべてを呪ってきたと言っていいでしょう。

私は、その反動からこの身体は人並み以下だけれど、私のこの頭脳は誰よりも優れていると誇っていました。素晴らしい頭脳を母親は私に下さった。そうも思ってきました。

ああ、私は何とアンバランスな人間だったのでしょう。

一方では母を恨み、一方では母に感謝し、そんな私のアンバランスな思いが、余計に私のこの心に歪みを加えました。

私は、どこか世の中を真っ直ぐには見ることができなかった。だから私はこの目に映る世界から逃避して、宇宙を思ってきたんです。宇宙、私の中に、目に見えない世界を心に感じていきたかった。目に見えない世界と、私は宇宙を思ってきました。

しかし、私のこの思いはただ自分から逃げ去ってきた、本当に愚かな卑怯者の思いでした。

私の中には、そんな思いが、今、母の胸に抱かれていた私を感じるたびに、そんな卑怯で愚かな私を感じます。

Xさん、あなたのその肉体細胞に思いを向けてみてください。

あなたが、長年、自分の身体に向けられた思いとは違って、肉体細胞をただただ愛しく思えるあなたを感じてみてください。

肉体細胞からあなたにメッセージが届きます。

私達肉体細胞は、ただただあなたに伝えています。この不自由でどうしようもない機能です。それでも私達は、あなたにあなたの中を知ってください。あなた自身を知ってください。あなたの中に忘れ去られた本当のあなた自身を思い出してください。あなたが生まれてから、ずっと、ずっと私達はこのメッセージを送り続けてきました。

私達肉体細胞に対して、あなたはとても冷たかった。冷たい思いを流してきました。しかし、私達があなたに伝える思いは母の思いです。あなたのにある本当の優しさ温もり、それをあなたに気付いてほしい、ただただ私達は、この変形していく肉体細胞として、あなたに伝え続けてきたのです。あなたのなかへこの思い

が少しづつ届いていると思います。あなたに残された肉体を持つ時間、どうぞ、私達肉体細胞とともに、本当の意味でともに生きてください。

あなたは、死とともに生きてきたとおっしゃいました。あなたの心の中にはとても凄まじいエネルギーが渦巻いています。

母を恨んできたとあなたは語りました。そうです、母を恨み、この社会を呪い、己の欲望を満たすことができなかつたその恨み辛みがあなたの中には渦巻いています。どうぞ、その思いを、私達肉体細胞はこういう形となって、あなたの心を見てくださいと伝えてきたんです。

このメッセージを私達肉体細胞は、あなたに届けます。

Xさん、私は田池留吉という者です。

私達、人間の本当の姿は目に見えません。意識として永遠に存在しているんです。あなたがその肉体をなくした後も、あなたの意識、エネルギーがそこに存在します。

あなたは死後の世界を否定しました。どうぞ、その否定してきたあなたの思いを見つめていってください。

あなたは死を恐れしてきた、だから私は死後の世界を否定してきた、そういうふうに語りました。そうですね、あなたはその肉体をご自分だと思うからこそ、死後の世界を考えたくはなかったのです。

そうではありません。あなたはその肉体をなくしても、あなたはそこに存在しています。どういう状態で存在しているか。それは、あなたがあなたの心を見るということで、あなたがどういう

状態で存在しているかを知っていくんです。

それがこれから転生です。あなたの転生、これからこの地球上において、あなたは幾度か転生をしてまいります。はい、また再び肉体を持ってくるんです。今度はどんな肉体を持ってくるのでしょうか。

私、田池留吉とあなたの意識は語りました。

どうぞ、ご自分に目覚めていけるような、そんなあなたであつていただきたい。ともに、ともに歩いていけるあなたであつていただきたい。

私、田池留吉は、今、あなたの意識の世界にそのようにお伝えします。

Xさん、あなたの一言はたくさんの人々に影響を与えます。どうぞ、あなたが、あなた自身が、真実のあなたに目覚めていけるよう、どうぞ、からの転生を、ご自分の中で喜んで受けていくください。

身体の病と心の病とは根本的に違うのでしょうか。そして、なぜ病は存在するのでしょうか。 塩川香世

根本的には同じです。肉体が病んでいても、心が病んでいても根本は同じです。自分の間違いに気付くためにも病を得ます。もちろん、肉体が病んでいる人達、心が病んでいる人達だけが間違っているということではありません。しかし、そういう人達は、自分の病をきっかけにして、何かに気付いていかなければならな

いということは事実です。

いわゆる、薬、手術という医療の手助けで、その症状の改善に努めながら、ある程度のところまで改善しても、最後の最後は自分です。

それがこの心を見るという学びです。

自分の心を見る。なぜ自分が生まれてきたのか。なぜここに存在しているのか。何をするために存在しているのか。あの母から生まれてきたけれど、その母に対してどんな心を使ってきたか。そのところを知る機会に巡り会わなければ、身体の病がたとえ完治しようとも、根本的な完治にはなり得ません。また心の病は完治することはありません。

そういう意味において、心の病を抱えている人のほうが、自らを知っていくより大きなチャンスに恵まれていると言えるかもしれません。

そうです。心の病を抱えている人は、たとえ肉的にどんな事情があろうとも、どのような環境でそのような状態になろうとも、大きなチャンスなんです。

死にたいとか、空しいとか、心の中がざわめいているとか、そういう症状を訴えている自分を、本当にしっかりと見つめていったならば、よく分かると思います。この学びのことはよく分かると思います。

そういう人ほど、本当にこの学びをしていてよかったですと心で感じられるのではないでしょうか。

ただ、そこまでいくのには、それは、それは並大抵のことではありません。心が敏感であり、色々なものが語ってきて妨げてい

くんです。見ないように心を向けないようにしているんです。

しかし、それをしているのは自分だと、本当に心で感じてきたならば、そんな自分がとても愛おしくなります。

そんな自分に語りかけることをしていきます。優しいお母さんの思いの中にあった自分を思い出していくます。お母さんがどれだけ自分に語りかけてくれたかを敏感な心は感じていきます。

そうしていけば、自分に語りかける、その優しさ温もりの層が増していきます。優しさ温もりで自分を包んでいく嬉しさ、喜びを心に広げていけば、田池留吉、アルバートの世界が本当に心に響いてくるんです。

敏感な心の持ち主、心に病がある人達は、本当はそういうようなことに巡り会える大きな、大きなチャンスをいただいている。しかし、そのチャンスも、この学びに繋がることができなければ、活かすことは難しいというのが実際です。

また繋がってきたとしても、自分の中にこの思いを広げていくことが難しいというのも、また同様です。

しかし、私は伝えます。

肉体が病む、心が病む、それは苦しいながらも、自分に思いを向ける絶好のチャンスなんです。

肉体細胞に思いを向ける、苦しく呻いている、あるいは、他力の神を求めてきた自分の心をしっかりと見つめていく、大きな、大きなチャンス。そんなチャンスを自らが作ってきたことに、やはり私は一人でも多くの人に心で気付いてほしいです。

そして、その気付きがこれからの250年、300年の間の転生の時に、何度もあると思います。

これは余談かもしませんが、それを外せば、もう後はお分かりでしょう。

私達は次元を超えていきます。次元を超えていくことができない意識達は、それは自分でそう選択しているだけです。

私達は、しかし、最後まで呼びかけます。そして、次元を超えて呼びかけ続けているんです。

ただ、その思いは遙か、遙か遠くにあって、そうですね、届いていくには、気の遠くなるような時間を重ねていくでしょう。

いわゆる世間で言うUFOと、私達が言っているUFOの違いについて語ってみてください。 塩川香世

世間で言う**UFO**は、目に見えることを前提としています。そして、そこから何かを得ようとしています。利用しようとしているんです。パワーを引き出そうとするか、未知なるものから自分達の人間社会にとって有益なものを引き出そうとしているのです。その力を自分達にもたらしてくれると思っているUFO達の存在を感じている人達もいます。

根底にあるのは欲です。欲でUFOを呼ぶんです。己を表そうとする思いはもちろんです。そのUFO達のパワーによって支配しようとする心もあります。

ただそういう人達は、それが間違っているとかは思っていません。それどころか、自分達人間社会に有益なことを伝えようしてくれる存在は、どこまでも利用する価値があると思っているの

です。それによって、自分達の生活、社会全体が潤っていけばこんなに素晴らしいことはないということでしょう。共存共栄という思いも、もちろん入っているでしょう。そういう思いでUFOを呼び、テレパシーとでも言うのでしょうか、霊的なものを呼び寄せるような、そんな集団もたくさんあります。

しかし、そこに渦巻くエネルギーは、今も申しましたように、支配欲だとか名誉欲だとか、それを利用しようとする欲です。

その人達がそこに渦巻くエネルギーを心で感じるようになったならば、分かると思うんです。

それがなければ、なぜそれが間違っているのか、なぜ悪いことなのか、どこがどのように間違っているのかは全く分かりません。

共存共栄がなぜ間違っている。UFO達の力を借りて、この人間社会がより良くなればいいのではないか。何もそれで悪をはびこらせるようなことはないと、大真面目に思っているから、なおさら始末が悪いです。

その人間の心の闇の部分に付け込むように、もちろん、語ってきます。相通じるエネルギーは語ってきます。すべてはマイナスのエネルギーです。

そして、UFOと私達が別々の存在かといえば、私はそうではないと言っているのです。

私達も目に見えない存在です。UFOも本来は目に見えない存在なんです。しかし、自分達を形あるものとしてとらえる心からは、UFOもまた形あるものとして考えます。そこに形を中心とした考え方方が広がっていき、その形の世界をより良いものにするために、心をそちらのほうにどんどんどんどん向けていくように

なります。そういうことが間違っているんです。

私達は目に見えません。UFOも目に見えません。しかし、心と心の通信はできるんです。

そして、その心と心を繋ぐ方法は、唯一お母さんを思うことです。お母さんの中にあったんです。みんな、みんなお母さんの優しい温かな温もりの中にありました。そして、今もその中にあるんです。その中で、その思いを忘れてきたということを思い出していくましょうと、私達はUFO達と交信をしていくんです。UFOもまたそこが分からなかったから、暗く苦しく冷たい思いばかりを流してきました。そして、こうなれば、幸せにしてやるぞ、パワーをやるぞ、それをくれ、くれと思う思いとピタッと一致して、そこにマイナスのエネルギーが発生し、それが形となって表れていくんです。その形となって表ってきたものを、なぜこんなことになるんだ、なぜなんだ、なぜなんだとそればかりを思って、自分達の心を見るということを知らないから、マイナスは益々膨れ上がります。

そうではない、私達がパワーを欲し、パワーを与えてやるぞという思いを募らせることがマイナスとなり、そこに歪みが出てきて、こういう形になっていくんだ、そのことがどちらか一方が気付いていったとしたなら、その一歩が相手に伝えることができる。それがUFOとの交信です。

私達は、今、肉を持って真実の世界を学んでいます。真実の世界に触れた意識が、本当の優しさ、本当の温もりを、まだそこに気付いていない意識達に伝えること、それがUFOとの交信です。

UFOから何かを与えてもらうとか、パワーをもらって私達人

間の生活を、社会を豊かに、より良いものにしていくために、UFO達に思いを向けるとか、摩訶不思議なことを自分達の中に起こして、それによって、自分達を誇っていくとか、そういう思い方がみんな間違っているのです。つまりはブラック。ブラックはマイナスのエネルギー。マイナスのエネルギーはマイナスの仕事をします。マイナスの形を出してきます。

そういうことを私達が心で知ることができなければ、すべてそのマイナスのエネルギーに飲み込まれていきます。どこまでいっても、マイナスのエネルギーを流し続けていくんです。

それをここでストップしようと私、田池留吉が肉を持ち、このように伝えています。

心を見ることをやりましょう。お母さんの反省をしましょう。あなたの中の優しさ、温もりに気付きましょう。そのように私達は伝えています。UFOと交信するということは、あなたの中の優しさ温もりに目覚め、その優しさ、温もりをUFO達に伝えていくということです。UFO達から教えを乞うとか、何かをしてもらうとか、パワーをもらうとか、UFOを特別な存在として見るということ自体が本当に間違っているんです。ブラックなんですね。そのことに気付いていただきたい。

世間で言うUFOと私達が言うUFOとは全く次元が違います。UFOは目に見えません。姿、形などありません。

UFOはただ真実の自分の世界に触れることを、ただただ待ち望んでいる意識です。私達と同じでした。温もりを捨て去った私達と同じでした。UFO達に伝えていくということは、とても大切なことです。UFO達を呼ぶということは、ともに苦しみの中

から自分を救い出していこうというメッセージを送っていくということです。

UFOから何かを引き出そう、何かを得よう、そういう欲の心をしっかりと見つめてください。その欲がある限り、UFOを見たとか、UFOがいるとか、そういうことに乗っていって、自分の大切な肉の時間の中で、肉を持ってしなければならないことがおざなりになってしまいます。

もうUFOを欲で追うのは止めましょう。私達はそのように伝えます。

250年後の肉を終えたあとの私を語りたいと思います。そちらのほうに思いを向けてみます。 塩川香世

私は、250年後の肉を捨てた私自身です。心の中を見つめて、見つめて、見つめてきた私の中には、ようやくこの思いが広がっています。

それは、広い、広い何もない世界。そうすべてが愛の世界。愛の世界を私自身は心に広げています。

次元を超えていく私の中には、苦しみは、もはやありません。ただ愛の純度をこれから次第に上げていくんです。それは、私の肉を置いたあとの仕事です。

250年後の肉を置いた私を、今、私は語っています。

心を向けていくとき、喜びだけが広がっていきます。ありがとうございます。私はすべての私とともに、この喜び

の世界、喜びへどんどん歩いていけるのです。

死後の世界を今、語っています。はい、心の中で語っています。

250年後の肉を置いたあとの私の思いを語らせていただいています。

愛の世界を広げていくこと、その純度を高めていくこと、私は私に伝えています。

第6回UTA会に用意した資料を掲示します。参加する方は、予習をお願いします。

意識の流れの学びを進める

I 入門

1. 学びを始めた動機を確認する。
2. 自分の宗教遍歴を振り返る。
3. 本『意識の流れ 増補改訂版』と『続 意識の流れ改訂版』を繰り返し読む。
4. ホームページ『意識の流れ あなたに語り掛けましょう 田池留吉』を毎日開いて読む。

II 実践・じっくり基本を

1. 母親の反省

母親にしてもらったこと、してもらえたかったこと、してあげたことを、ノートに書き出す。

母親に使ってきた心を思い起こす。

2. 0歳の自分に向ける瞑想

母親の温もりを感じる。

3. 田池留吉を思う瞑想

田池留吉に心を向ける、合わせる、委ねる。

田池留吉の世界、温もり、優しさ、大きさ、広がり、パワーを感じる。

III 実践・しっかり応用を

1. 田池留吉のメッセージを受ける。本物かどうか波動を確認をする。

2. 自己供養

自分の闇・過去世を受け入れる。

自分の闇と共に、母親に、田池留吉に心を向ける。

自分の闇が喜びに変わる。

3. 来世との出会いと供養

250年後の自分、300年後・次元移行した自分と出会う。

4. 死後の自分との交信

IV 実践・愛の放射塔

1. 田池留吉と交信・質疑応答する。

2. 意識の転回、更に更に進める。

3. 田池留吉と「私はあなた、あなたは私、一つ」だと確信する。

4. U F Oに心を向ける。U F Oと交信する

5. 宇宙に心を向ける。宇宙と交信する。愛が宇宙に流れる。

6. 一切はエネルギー、愛・温もり、優しさ、喜びだったと悟る。

学ぶ動機が間違っていれば、そして、修正がなければ、一歩も前には進めないでしょうか。 塩川香世

田池留吉です。はい、学ぶ動機を見直すこと、そして、その間違いを修正していくこと、自分で修正していくこと、それがなければ、この学びは一歩も前には進んでいません。一歩もです。

肉では学んでいる、学んできたような感覚があるかもしれません、動機が違えば、足をその一步を踏み出すことができていないんです。できていないどころか後退しているかもしれません。

どうぞ、皆さん、学ぶ動機を見つめ直してください。

学び始めは仕方がないです。皆さん、ほぼ全員の方が、その動機が違っています。肉的に色々な悩みを抱えて集ってくる人があれば、パワーが欲しい、チャネラーになりたい、そういうことで集ってくる人もいます。

それぞれの中で、しっかりとその動機を見つめ直すことから、まず始めてください。そこが違っていれば、本当に前には一歩も進めないのでです。

たとえ、目の前の問題がいい方向に行ったとしても、それで真実の世界を学ぶ正しい軌道に乗っているとは決して言えません。

また、セミナーに集ってくれば、鈍感な人も敏感になってきます。敏感になったから、分かるということではありません。それはもうほとんどの人はお分かりだと思います。

要は学びの動機をしっかりと見つめ直し、そして、自分に誠実に素直になることです。素直、これは難しいですよ。ほとんどの

人が素直ではありません。己が偉いです。偉いからこそ、20年以上の年月、時間をかけても…というところがあります。

しかし、いつも申していますように、意識の流れは滞りなく流れています。私達は、その計画通りに流れている流れのもとに、ただ淡々と次元移行へ思いを向けているだけです。

その流れに逆らっている生き方、存在の仕方をしていないか、それを問うチャンスがこれから転生に用意されているということです。

すべての意識にそれを問うチャンスが用意されています。

意識の流れは滔々^{とうとう}と流れています。どうぞ、自分を救済する道にその一步を歩めてください。

人は、なぜ死を恐怖するのか。死を忌み嫌うのか。死ぬことを考えていないわけではないけれど、なぜそこを避けてしまうのでしょうか。 塩川香世

それは、それぞれの心の中に死んだ後の自分、死んでからの自分、それを知っているからです。肉体を離せば、どのような状態になっていくか、自分の心で本当は皆さん知っているのです。しかし、それを認めたくはないんです。見たくはないんです。

肉を持っている今、必死にその思いを見ないように、見ないように、避けて、避けて、遠ざけていっているだけなんです。意識的にそうしている人もいれば、無意識のうちにそうしている人もいます。

しかし、すべてに共通なのは、皆さん、死んだ世界を知っているということです。自分が死んだらどのようになるか知っています。

知っているけれども、どうしようもないんです。だから、今、目の前に広がっている世界に、自分のすべてを向けていくんです。目から耳から身体全体で、今、目に見えている世界と通じ合うことをただひたすらやっているだけです。しかし、そういうことで、死の恐怖が消え去ることはないことも、皆さん、知っています。

人間いつかは死ぬ、そう言って自分の心をごまかしている場合も多々あります。

死を考えたくない。死ぬのが怖い。これが肉を本物とするところの偽らざる本音です。

その中で、死後の自分と語りなさいと、今、促されていることが、どういうことなのか分かりますか。

考えたくもない、触れたくもない死後の自分を、今、心で感じなさいということが、本当の優しさだと分かりますか。

自分を救えるのは、肉を持っている今しかないということが分かりますか。肉を持っている今だからこそ、自分を自分で供養できるのです。

自分の供養は自分しかできないということが、心で分かってきたなら、ただひたすら、自分に伝えるはずです。何を伝えるか。今、自分に本当に伝えなければならないことを、学んでくださいと私は申し上げてきました。どうぞ、皆さん、本当に自分を救う、自分に本当のことを伝えられるような学びをしてください。

真っ暗闇の中にいる自分に、はっきりと心から伝えていけるあ

なたであってください。

そして、できれば、肉を離したあとも、自分を供養できるまでになっていただけれどと思ひますが、それよりも何よりも、まずは肉を持っている今、暗闇の中に沈んでいる自分にどれだけのものを伝えていいけるか、それを日々淡々と試みてください。

肉を離したあとも、自分を供養することができるということについて、もう少し語ってみてください。 塩川香世

肉を離したあとも、自分で包んでいいけるということは、田池留吉、アルバートのメッセージを肉がなくても聞けるということが条件となってきます。肉がなくても、田池留吉、アルバートのほうに心を向けられるということです。

心を向ける。向ければ広がる世界を感じる。その世界を感じるからこそ、自分の中に優しさと温もりが広がっていく。そして、その世界で自分と対話する。自分に問いかけ、自分が答える。もちろん、心の針は、田池留吉、アルバートを指している。

簡単に言えば、肉を離したあとも、自分を供養するということは、このようなことです。肉を持ちながらすることを、肉がなくとも、肉を離したあともできる。それは、まさに、田池留吉、アルバートの中にある自分を心で確立していることが必要です。

肉を持っている間は、肉を通して、自分の出す思いを確認することができます。そして、お母さんのお腹にいた頃の自分に思いを馳せて、ああ、冷たかったなあ、間違っていたなあ、苦しかつ

たなあと、そうやって、自分に思いを向けることをやっていると思います。いわゆる、反省、瞑想ですね。

それが、肉がなくてもできるかと言えば、私、田池留吉、アルバートに心の針がピッタリと合わすことができていると、自分の心で確信がなければ、まず無理です。心の針を合わせるのは頭ではありません。肉を持っている間は、合わせよう、合わせようとしてできるかもしれません。

しかし、その肉を離してしまえば、意識、心だけ。合わすも何も、ピッタリ一つであれば…ということです。

その感触というか感覚は、心で知っていく以外にないことはお分かりだと思います。

あなたの顔は、いつも、明るいですか、笑っていますか。暗い顔はいただけません。怒った顔もです。肉・目に見え、耳に聞こえ、触れることができる形の世界が本物であるとする物の見方、考え方（宇宙の風9頁から引用）を基盤とする笑顔は、暗い、本物ではありません。意識の転回が進むにつれて、笑顔は作られた物でなく本物になっていきます。本物は本物の仕事をしていきます。いつも、**本物の笑顔**を絶やさないようにしていきましょう。

UTA会のUはUFO、Tは天変地異、Aはアルバートです。

死ぬまで、心の中で、田池留吉を呼び続けてください。死んでからも呼び続けてください。信じて信じて呼び続けてください。できるでしょうか。

田池留吉に心を向け、合わせ、委ねる瞑想をずっと、ずっと続けてください。田池留吉の世界が分かるまで、私はあなた、あなたは私、一つ、愛だと分かるまで続けてください。次元移行後もずっと続けてください。

真実は一つです。

母親の温もりが分からないと、一步も前へ進めません。母親の温もりがいまだに分からな方は、どうしてか、自分の心をしっかり見ていきましょう。

母親の温もりを忘れ去った方は、決して幸せにはならないでしょう。

なぜ、UFOに天変地異にアルバートなのでしょうか。
それらは一体何ですか。 塩川香世

言うまでもなく、それらは次元移行を指しています。次元移行に欠かせないキーワード、UFOに天変地異にアルバート。

意識の流れは次元移行を指しています。もうそういう時が迫っていますよと、意識の流れは伝えています。その流れは、滞りなく流れているから、目に見える形の世界に色々、色々現象が起こってくるのです。

この三つのキーワード、よく憶えておいてください。

田池留吉に心を向ける、合わせる、委ねる瞑想を淡々とやっていく中で、この三つのキーワードがしっかりと心に広がっていく

でしょう。

すべては次元移行を指しています。次元移行へ続く喜びの道を、U F Oも天変地異もアルバートも指しているんです。すべては波動の世界です。形はありません。U F Oにしても天変地異もアルバートも形ではありません。波動、喜びのエネルギーです。

次元移行へ喜んで、喜んでともにまいりましょうと喜びのエネルギーをU F O、天変地異、アルバートの三つのキーワードで、これからそれぞれの意識の世界へ確実に届けてまいります。どうぞ、その思いをキャッチできるようなお勉強をなさってください。

意識の流れは、どんどんスピードを上げてまいります。なぜならば、宇宙には、次元移行を心から待っている多くの仲間達が存在しているからです。肉を持たない多くの仲間達、その意識達とともに次元を超えていく計画は着々と進んでいます。どうぞ、肉を持っている今こそ、本当に意識の流れをご自分の心で感じられるような、そんな学び方をしていきましょう。

この学びはいたってシンプルです。 塩川香世

あなたは、田池留吉を信じていますか。どうですか。信じているとするならばどの程度ですか。

信じていなければ信じていない結果が目の前に現れてきます。簡単なんです。

あなたの心の中で感じる世界があります。その世界をあなたは自分の心を見ることによって、知つていけばいいだけです。

私は、本当の世界が知りたくて、真実が知りたくて、そして今

世を迎えました。私の中にある思いを私は、全面的に受けています。

私は私に素直です。私は私に素直に従って、心の中の喜びも温もりも幸せも、全部全部自分だったということを感じています。もちろん、ブラック、闇の部分も私です。しかし、そのブラックが私の中でお母さん、田池留吉と呼べば、本当に喜びが湧き起こってくるんです。

私はそうして、私の中を見て、ともに歩いています。

私は私の道が見えています。たくさんの私とともにこの道を歩いていける喜びを心に感じています。

ああ、だから、私は田池留吉に心を向け、心を合わせ、委ねる喜びを知っています。この喜びを知っているからこそ、私は、私を裏切りません。私を絶対に裏切らない。なぜならば、私はこの喜びが私だからです。

私、田池留吉はあなたの心の中にいます。そして、いつもあなたに語り掛けています。私は、あなたの心の外にはいません。外に向かって、私を求め、心を合わせ、心を委ねていこうとしても、本当の私に出会うことは無理でしょう。田池留吉を思う瞑想は指針に従って正しくしてください。

己一番、私は、正しい、素晴らしいとやっている人、我は神なり、我の前にひれ伏せとやっている人、心を中に向けて、中の田池留吉に心を向け、合わせ、委ねることは至難、5月のセミナー資料を熟読、実践して田池留吉の世界が分かっていくように進んでください。あなたの人生の目的はここにあります。

セミナー会場で、その人が**異語**を出したとき、はい、**日本語**で語りなさいと言われるときがあります。なぜですか。 塩川香世

はい、それは、その人が自分の心に蓋をしたまま、異語で語っている場合があるからです。自分の思いを素直に出していない場合があります。

異語といつても色々あるんですよ。異語はもちろん波動です。言葉というよりも波動です。エネルギーです。そのエネルギーを日本語に変換することによって、さらにその人自身、自分の思いを心に深く知っていくことができる、そういう場合に私は、異語で語る人に向かって、日本語で語りなさいと言います。

もちろん、異語でずっと語り続けていてもいいんです。しかし、異語を語っても、自分の心を語っていない場合が往々にしてあるんです。心の奥に蓋をして、ただ表面的に口先で音を発している、そういう異語、そういう異語を発している人に向かって、私は、はい、あなた、日本語で語ってみなさいと言うようにしているんです。

私は、自分を抑えている人に、何でもいい、音を発しなさいということも言います。まずは自分の中を風通し良くしなければなりません。ぶつぶつと、お腹の中でエネルギーを貯めてしまうから、それが肉体細胞のあちらこちらに噴き出してくるのです。といって、ただ出せばいいというものではありません。自分と語る、素直になって自分と語ることができる自分になっていくことが大

切です。

要は、音を出しなさいと言われば出せばいいし、日本語で語りなさいと言われば、日本語で語ればいいのです。その人にとつて、そうすることがプラスになるから私はそのように言います。それに対して素直にできないならば、できない自分の心を見ればいいだけです。

瞑想の中で、田池留吉の世界に委ねる素晴らしさを体験させていただきました。ありがとうございました。本当にありがとうございます。**田池留吉の世界に委ねることがすべて**です。本当にそれだけです。それだけです。本当に、本当にそれだけです。そういうことを感じさせていただきました。嬉しいです。ありがとうございます。 塩川香世

田池留吉です。田池留吉の世界に委ねる素晴らしさ、すごさ、驚きがあなたの心の中に広がっていくでしょう。

本当に田池留吉の世界を心に広げ、そして、その委ねるということを心で知つていったならば、こんなに嬉しいことはないでしょう。こんなに喜び、幸せなことはないでしょう。

ともに、ともに歩んでいけることを、あなたの心の中で証明していると思います。ああ、あなたの心の中に交信してくる宇宙達。その宇宙達とともに田池留吉の世界に委ねていこう、そのように呼びかけていける喜び。その喜びを益々大きくしていってください。

私、田池留吉はあなたの心の中にそのことを伝えます。私、田池留吉はあなたの内で、いつも、いつもこのように語っています。

田池留吉の世界に委ねる喜びをあなたの中に、もっと、もっと伝えていきたいです。あなたの内で、田池留吉の世界に委ねる素晴らしさ、すごさ、そのエネルギーを心でどんどん感じていってくださるよう、よろしくお願ひいたします。はい、喜び、喜びで私はこの喜びを伝えてまいります。

田池留吉氏は言いました。私は死ぬまで元気。その言葉、その思いに向けて瞑想をしました。 塩川香世

私は、私の肉、私の意識の世界に、相手がどのような思いで接してこられても、私はただ真実の世界を伝えるだけです。

それを素直に受け止めていただきたい、受け止めていただきたい、それぞれに幸せで喜びのご自分と出会っていただきたいとは思います、ぜひともそうしていただきたいと力んでいるわけではありません。

そんなことを思わなくとも、そして、肉の私がどうこうしなくとも、もうすでに、意識の流れは、次元移行へ向けて滞りなく進んでいます。

私が、今世肉を持ってきてやるべき仕事はすでに終わっています。

これははっきりとしています。だからこそ、あとは、私は死ぬまで元気に、喜んで、喜んでこの肉の時間を過ごすことができる

のです。

もちろん、余生をぼんやりとのんびりと過ごすということではありません。

私は死ぬまでお勉強です。この肉を離すまで、私は私の中をしつかりと見つめます。肉を離す前には、肉の汚れを取り去り、そして、肉を離したときから、私は私のお勉強を進めていきます。私のお勉強と言いましても、皆さんとは少し違いますが。

私は肉を持っていても、持っていないでも、全宇宙に向けてメッセージを発信しています。その私の世界と交信していただける道筋がしっかりとついています。肉がない私と交信していただき、さらに意識の世界の素晴らしさを確認していただきたいのです。

田池留吉の世界に心を委ねられる喜びをどんどん深めていっていただきたいと思います。私は死ぬまで元気にその喜びをお伝えしてまいります。

今世、肉体をいただき私、田池留吉と出会うことができたのに、いまだにブラックパワーに心を向け、狂うほどの苦しみに喘いでいる学びの友に、何としても正しい生き方をしていただきたいと思っています。なかなか難しいと思いますが、やる気のある友がおれば力になりたいと思っています。ただ、苦しい、何とかして、助けて、狂いそうだと叫ぶだけで、一向に私とともに学んでいくうとしない人は対象にはなりません。

今回の対象者の条件は次の通りです。

- 1 第6回UTA会の資料「意識の流れの学びを進めるのⅠ入門、Ⅱ実践じっくり基本を」を進めている。

- 2 U T A会には、第1回から第6回まで全部参加している。
 - 3 現在、病院・精神科または心療内科で受診している。
 - 4 一緒に学んでいる二親等までの親族か配偶者がいる。
- 条件を満たしていて、私とともに正しい学びを進めていきたいと希望する方は、その理由を書いたものを封書で私宛に送付してください。期限は、6月6日から6月10日（必着）までのものとします。希望者の中から10名の方を6月13日正午までに決めて連絡します。費用は要りません。

田池留吉の肉がなくなったあと、多くの方がこの学びから心を離すと、おっしゃったことがあります。私は正直なところ、えっと思いました。何年も学んできても、セミナーがなくなり先生が死んだと風の便りに聞く頃には、本当にそうなっているのでしょうか。

田池留吉です。肉というのは、ご存じのように形で示される世界です。目で見て耳で聞いて、触れることができる形があります。

人が語る言葉、人の温もり、優しい言葉、優しい態度、そういうものはよく分かるんです。形を示されれば、よく分かります。

しかし、どうでしょうか。この学びはあなたの心で感じるんですよ。心でしか分からないんです。しかし、心で分かる世界ですよ。瞑想を続けてください。瞑想をしていけば、あなたの心で分かってくるでしょう。

と、そのような学びです。

いいえ、真実の世界はそうなんです。波動ですから、目に見えません。しかし、それを感じられる心があります。

その心、それは、自分が意識であると本当に信じ、田池留吉の世界に心を委ねることを喜んで、本当にそうだ、本当にそうだと心で頷き、納得できていなければ、時間が経つに従って、あの時感じたものは何だったのだろうか、そういう思いがチラチラ出てきます。

そして、初めはチラチラであっても、何か事があるたびに、人が何かを言うたびに、何かを見るたびに、やはり田池留吉の世界、アルバート、250年後、次元移行、そういうものはやがて心の中から薄れて、小さく、小さくなっていくんです。

もともと、本当にその人達は、心の中で感じていたかどうか、それは置いておくとして、たとえ、心で感じていたとしても、肉、肉の勢いはすごいです。肉の世界をつかんでいる心は、肉に戻る習性があります。つまり意識の転回が渉っていない、そういう状態の中では、一人はもちろんのこと、周りにたとえ、学びの友がいても、やはり肉という濁流に心は知らずのうちに流れしていく、それが私は現実だと思っています。

だからこそ、これから250年に至る厳しいけれど、はっきりとした意識の世界がそれぞれの目の前に展開していくのです。

形としてはっきりと示されていきます。自分の世界、自分の意識の世界というものが、どれほど愚劣であったかということが、形として現れてくるんです。

その時に、今世のこの学びが、自分の心で感じた度合いによって、それぞれの心に蘇ってくることがあればよし、また、なけれ

ばないでよし、それはそれぞれ自己選択・自己責任のもとに、流れていきます。

しかし、そういうことは枝葉のことなんです。意識の流れ、次元移行へと流れていく意識の流れは着実に歩みを進め、そのスピードを上げています。いつまでも枝葉でごちゃごちゃしている時ではないということが、この250年の間に皆さん目の前にしっかりと示されていくでしょう。

私は、何年学んでいるとか、形だけは一生懸命だけど…、そういうことはどうでもいいんです。

ただ、意識の流れはこうですよ、今はこういう状態ですよと、はっきりとそれを証明していただけたから、もう私は、それでいいんです。ともに、生きていく、流れていく、その喜びの方向をしっかりと見つめながら、私は喜び、喜びで存在していくだけです。

人間は、本来自分自身の心はだませないのにだましまくってきました。人間は、気の遠くなるほど長い間ずっとずっと五感でとらえるものしか信じきませんでした。信じられないようになってきました。だから、人間は、自分自身を含めて人間をだまし続けてきたのです。そして、神と金に振り回されてきたのです。人間の一番不幸なことは、いまだにこのことに気付いていない、気付けないことでしょう。

しかし、意識の流れは順調に流れています。そして、地球人類に残されている時間と空間は、あと300年です。私が、肉を持ち、皆さん方に、真実はこうですよとお伝えしている所以はここ

にあります。

だから、どうぞ、お伝えしてきた学びを生活の一部としてではなく、自分自身の人生として、身も心もすべてを懸けていくようにしてください。

セミナー参加回数が10回未満の方に、特にお伝えしたいです。

それぞれの体験を語り合いながら、学びの友と親交を深め、ともに学びをしていくのもいいでしょう。しかしながら、セミナーには色々な人が来ます。割り当てられたお部屋にも色々な人がいます。ということも、どこか心の片隅に置きながら、楽しんで学んでください。

基本的には、学びについては、本（特に、『意識の流れ』、『続意識の流れ』）があります。ホームページもあります。

そこに学びのポイント等、あなたが知りたいこと、聞きたいこと、すべて網羅されています。

さらには、何よりもあなたの心の中にすべての回答が用意されています。

人に聞いてはいけないとは言っていません。しかし、自分に問い合わせ、自分で答える、そのことを心がけてください。

そして、ただ漫然と U T A 会セミナーに参加するのではなく、セミナーからセミナーの間、ご自宅で可能な限り自習してください。

セミナー会場で見て聞いて感じたものを、今度はご自宅でやつ

ていくのです。本があります。ホームページがあります。

そうしないと、たとえ、波動の勉強で前に出られて、その時、何かを感じたとしても、結局は自分でできなければ、あの感動を再びという思いだけが大きく膨らんでいく結果となってしまいます。

学びには、20年選手がたくさんいます。20年以上、セミナー参加回数は何百回という人はたくさんいます。それに比べ10回未満、これから全部のセミナーに参加されたとしても、数にしてはしています。その状況の中、心で分かってくださいというのは少々乱暴かもしれません、しかし、決して不可能なことはないんです。

素直になって、学びの指針に従って進んでいけば、学びの年数などほとんど関係がないことも分かってきます。

だから、本をしっかりと読んでください。そして、学びに集ってきた動機をしっかりと確認して、学びに全力投球をしてください。

何も思うことなく、ゆったりと田池留吉の世界に委ねる瞑想ができる環境にあるあなたは幸せです。何よりも、何よりも幸せです。

そんな環境にあることがただただ喜びです。あなたはそう思いませんか。

はい、全くその通りです。何も思うことなく、ただ心を田池留吉の世界に委ねていける喜びを感じていく時間と空間、それを自

分に用意していること、それだけが本当にこんなに嬉しい、喜びなんですね。

周りを見れば、本当にすべてが整っています。

ああ、自分を学ぶために生まれてきたんだ、真実の世界を知つていくために肉を用意したんだ、心の底から喜びが湧いてきます。

満足のいく瞑想ができる、できないなんて思うこと自体、違っています。

心を向けてみよう、ゆったりと落ち着いた中で、自分を見つめてみよう、自分と対話しよう、お母さんを思ってみよう、田池留吉の世界を信じていこう、そういうふうにして、瞑想を日々続けていくことが、何よりも大事なことではないでしょうか。

意識の世界は一つです。確かに一つです。それは自分の中に温もりと喜びを感じ、その思いで自分の中をしっかりと見つめ、しっかりと受け止めていく過程にあってこそ、ああ、私達は一つなんだと心で感じられると思います。

小さな暗い狭い中に固まつたままの自分があるのもよく分からず、その中でただ喚き散らし、嘆き悲しみ、狂い続けているだけでは、本当に広い、広い温かな世界に自分が存在しているんだ、そんな自分とすべては一つなんだなんて、絶対に分からない話です。

頭までは分かろうとするけれど、心は全く受け入れません。撥ねつけます。その受け入れられない、撥ねつける心をしっかりと自分の中に確認し、受け止めていくことができればいいけれど、大概は、その思いを益々膨らませていく方向に進んでいき、益々

混乱していきます。

その繰り返しでは、本当に苦しみの中から抜け出しができない、どうぞ、このことをしっかりと知ってください。

苦しみの中に自分を突き落としているのは自分だった、本当に今、そんな自分だったということを心から知ることが待たれています。

一に瞑想、二に瞑想、三、四がなくて五に瞑想。ただただ瞑想。

塩川香世

心の中に田池留吉、アルバート、そう思うだけで、心の底から喜びが突き上がります。すごいエネルギーを感じます。これが私の世界です。

宇宙へ心を向けるとき、アルバートへ心を向けるとき、本当に嬉しい、嬉しい、喜びの時を心に広げられる。250年に至る喜びの道を感じます。

私はこれからたくさんの宇宙達、UFO達と交信してまいります。

私の中にUFOが語ってきます。UFOに思いを向ける喜びを心に感じます。

これから250年に至る時間、人間の頭ではとても想像ができない出来事が起こってきます。エネルギーです。喜びのエネルギーが形となって表れてくるんです。

UFOを呼びます。宇宙を呼びます。

心の中にしっかりと呼んでいる私があります。私はエネルギー。はい、苦しい、苦しい中をしっかりと見つめてきたエネルギー。そのエネルギーが今、喜びへ、喜びへ、本当に変わっていく様を感じています。

宇宙に思いを向けることを恐怖してきたこの心。本当に嘘みたいたです。喜びが広がっていきます。温かい温もり、優しい、優しい波動を感じます。宇宙は喜びでした。本当に宇宙は喜びでした。

生まれてくることを切望してきた自分に誠実に応えていっています。

私は私に誠実に向かい合っています。それが嬉しいです。何よりもそれが幸せだと心に響いてきます。

このまま250年に至る道を真っ直ぐに突き進んでいくことを約束しました。固い約束の中で、私は私をただただ温かい優しい思いで見つめていくだけです。ようやく自分に委ねられる喜びと出会えました。傾斜はきついけれど、それだけに喜びが大きいです。心を向ければ通じる喜びがあります。そこには、ありがとうございますだけがこだましています。

一に瞑想、二に瞑想…、温もり溢れる世界、喜び溢れる世界にある自分の中を、たくさんの自分とともに歩いていけることを、肉を持ったがゆえに、本当に心で知りました。

喜びはパワー。心の底から湧き起こる本物のパワー。瞑想を通して、そして、形の世界を通して、そのパワーをしっかりと確認させていただきます。

自分に問いかけ、自分で答える、その自分について語ってみてください。　塩川香世

＊＊＊＊という名前のついたあなたではありません。

本当のあなた、本当のあなたがあなたの中に存在しています。

あなたのの中に、田池留吉の世界があります。田池留吉が心の中より語っているその世界に向けて問いかけ、その世界から答えを引き出してくるということです。

そうすることによって、あなたの世界がどんどんどんどん広がっていくのです。優しい温もりの中に自分は存在していたという確信が、大きく太く強くなっています。

どんどん自分に聞いていけばいいんです。田池留吉は答えてくれます。

田池留吉が答えるということは、あなたが答えるということです。

その一致する思いを、あなたの心で感じていってください。

喜び、喜びで感じていってください。

波動の世界は一つ。意識の世界は一つ。その中で本当に真実を求めていく力強いエネルギーを感じるでしょう。

では、やってみましょう。あなたはあなたに問いかけ、その問いかけにあなたが答えていく、そのあなた自身に心を向けてみましょう。

悲しみも苦しみも恐怖も何もない、あるのは喜びだけ。ただただ喜びだけの世界ですというメッセージが伝わってきます。このことについてお勉強させてください。

田池留吉、アルバートの世界、あるのは、まさにその世界を心に感じ広げられる喜びだけです。その喜びをどれだけ自分の中に広げ積んでいけるか、それがあなたのこれから歩みです。

私の中には、苦しみも悲しみも恐怖もない、ただただあるのは喜びだけ。温もりの世界だけ。その温もりと喜びの世界をどれだけ心に広げていくことができるか。田池留吉に心を向け、合わせ、委ねていける瞑想の中で、しっかりとその信を確認していきなさい。

喜びを大きく、大きくしていけるあなただから、私は伝えるんです。

傾斜がきついです。きついけれど、しっかりとその一步を歩んでください。田池留吉、アルバートの世界に対する思いの太さ、強さを、さらに強めていくこれからのあなたを私は感じています。たくさんの意識達に心を向け、あなたはただただ田池留吉、アルバートに心を向け、合わせ、委ねていくだけでいいのです。

田池留吉は応えます。波動として応えます。あなたの心から応えています。

私はあなたの心で、このように語っています。

私の波動をしっかりと心に広げ、さらにあなたのお勉強を進めてください。田池留吉、アルバートの世界は限りなく広い。広くて温かくて優しい。ただただその喜びだけを伝えたいです。私に

心を向けられる喜びは、ご自分に委ねていける喜びです。私達は一つだからです。

はい。もう少し心を広げてください。しっかりと私を呼ぶんです。

どうでしょうか。心で感じていただけましたでしょうか。あなたの中に私はこのように存在しています。波動として存在しています。あなたの心の中にある私をどんどん呼んでいくだけでいいんです。呼んで、呼んで、呼んで、心を向けて、はい、喜んでいてください。

ありがとうございます。ありがとうございます…。

すべてを委ねていってください。あなたのすべてを委ねてみてください。 塩川香世

私達は幸せです。心の中に田池留吉、アルバートと呼んでごらんなさいと、委ねていける喜びを伝えていただいている。心の中に喜び、温もりが伝わってきます。私達はこんなに幸せでした。心の底から、ただただありがとうございます。

私達は、肉を持ちません。肉を持たずに、今、心を向けています。すべてを委ねてごらんなさいと伝わってきます。

すべてを委ねていける喜びが伝わってきます。ありがとうございます。

私達の中によく温かな、温かな優しい温もりが届きます。私達は、暗い、暗い真っ暗な中で、今か今かと思っていました。ここから抜け出したい、抜け出したい。しかし、私達はどうしていいのか分からなかった。ただ暗く苦しい重いものが中にあることを感じていました。

今、私達に「委ねてください」とメッセージが来るんです。苦しい中によく安らぎを感じさせていただきました。ともに、ともに歩いてまいります。ともに、ともに歩いてまいります。

田池留吉、アルバート、私は心を向けたとき、ようやくこのようないいが届く世界を感じました。嬉しいです。すべてを委ねていける喜びを私は伝えたいみたいです。

肉を持ち、私はこの世界を伝えられる今がとても幸せです。私はこの思いをどんどん広げていきます。

私の勉強です。私は肉を持たずにこの思いを広げていけることを感じさせていただいている。思いを語れることが嬉しいです。

私はエネルギーを流しています。

冷たく苦しく閉ざされた宇宙達へ、私はどんどんエネルギーを流します。喜びのエネルギーが心から流れ出すことを感じます。

田池留吉、アルバートに心を委ねていけることがすべてです。私の中よりどんどん伝わってきます。

田池留吉、私の勉強はこのように進めていけばいいんですね。ともに喜びを伝えていくことを私は喜んでいます。

田池留吉に心を向けて、喜びを伝えてまいります。

田池留吉です。どんどんどんどん、心から喜びのエネルギーを流し続けていってください。宇宙には、まだまだ光、温かな優しい光が届いていない暗黒の部分がたくさん、たくさんあります。心よりあなたの喜びの思いを伝えていってください。

心を向けても、あなたはそのエネルギーによって狂うことはありません。そこに流されることもありません。埋没することもありません。ただただあなたはあなたの心で感じているものをしっかりと伝えるのです。

「田池留吉、アルバートとともに歩いていきましょう。そして私達の思いを、どうぞ、真剣に心より受けてください」とメッセージを心から流していきなさい。喜びのエネルギーが仕事をしていくこれから的时间、あなたの心の中でしっかりとやり続けるのです。あなたの肉があってもなくても、私と同じ仕事をしていくことを、今、伝えます。

田池留吉の肉があつてする学び、肉がなくてできる学び、私はそのどちらも自分の中で充分に学び終えて、この肉を閉じていきます。そのように伝わってきます。田池留吉、そのことについて、語ってみてください。 塩川香世

田池留吉の肉があつてする学び、それはこの20年以上続いてきたセミナーの中で、あなたは充分に学んでこられました。もち

ろん、まだもう少し、田池留吉の肉はこの世に留まります。その間、あなたはさらに学びを進めていくでしょう。自分自身の学びを進めていくでしょう。

そして、私の肉がこの世を去った後、あなたはあなたの予定通りに、私の肉がなくて、私の世界へ心を向けていく、その学びをあなたの中でしっかりと歩んでいくことだろうと思います。それはほぼ間違いのないように準備は整えられています。

どうぞ、喜んで、喜んで学んでいってください。田池留吉の肉があってもなくても、あなたの中で語っている田池留吉の世界に心を向けること、その喜びを心でどんどん感じていってください。

波動が伝わっていきます。田池留吉の肉があった時はあった時で、ない時ではない時で、本当にその世界を波動で感じていく、意識の世界をご自分の心で本当にしっかりと感じていく喜びを、あなたは広げていけるでしょう。

そして、あなた的心で感じたものを、真っ直ぐにあなたの中から流していきます。エネルギーとして流していきます。

今、学びに集っている人達にはもちろん、宇宙に点在する肉を持たない意識達にも、そのエネルギーは流れていきます。

そのように、あなたはしっかりと瞑想をする時間の中で、そのお勉強ができると私は、あなたに伝えます。

あなたは私に語りました。私は自分を学ぶために生まれてきました。真実の世界を本当に心で知り広げていくために、私はこの世に生まれてきましたと。

あなたの思いが、今まさに本当に実現する方向へ、着実に歩みを進めていることを私は伝えます。

どうぞ、心をしっかりと田池留吉の世界へ合わせ、私の思い、私の意識、波動を、しっかりと心で受けていってください。

間違いなく250年後へと繋ぐあなたの意識の世界。そして250年、300年、次元移行へと歩みを進めているあなたの喜び、心に伝わります。

田池留吉の世界より、本当にありがとう、ありがとう、ありがとう。あなたの心へ今伝えます。

どうぞ、私の思い、意識、波動、エネルギーを心で受け取っていってください。

田池留吉の肉がなくなった後、この日本列島は色々な面で揺れています。しかし、私は、今、心に感じている方向へしっかりと心を向けていくだけです。

私の肉は、今そのように私の中の思いを感じています。

田池留吉、アルバートへ心を向ける喜びを私はさらに広げてまいります。日本列島、揺れてまいります。色々な面から揺れてまいります。

しかし、私はそれが嬉しいです。

心で感じる喜びがあります。私はありがとう、ありがとうと言って、学んでまいります。そして、この肉を終えてまいります。

夫はガンでした。手術のできない状態でした。あと何か月という死の宣告を受けました。それだからこそ、私はようやくこの学びに自分を集わすことができたのです。この現象がなければ、つ

まり夫が生き長らえていては、私はこの学びに集うことはなかつたでしょう。それほど私は肉、形の世界を握ってきました。肉を持つてしまえば、そうちょっとやそつとでは、本当の自分の思いなど感じられるものではありませんでした。

肉、形の世界を握ってきた心には、手術もできない状態では、死がそう遠くない時にやってくる、それだけは確かなことでした。そんな状態で、死から生還するといった奇跡的なものを、どこかの神様にお願いする、藁をもすがるといったバカらしいものに心を向けなかつたというのが、たった一つの救いでした。

ただ、私は私の計画がありましたから、その現象がなかつたらということはあり得なかったのです。すべては想定内の出来事でした。なぜならば、私がすべてを計画してきたからです。

そういった私のエネルギーに今、心を向けてみます。 塩川香世

間違い続けてきた、地獄の奥底で苦しんできた自分に対して、何としても私は自分に真実を伝えたかった。ただただ伝えたかった。自分に自分が目覚めたかった。その思い一筋で、この肉を用意してきました。すべての環境を用意してきました。

学ぶもののすべてを用意してきました。これさえあれば、私は必ず、必ず自分に真実を伝えていける、そう自分に約束してきました。

「田池を殺すというエネルギーを心の中に秘めたままでは、全く真実の方向に向くことができない。そして、真実の方向に向くことができない自分は地獄の奥底から一歩たりとも這い出ることはできない。」

これが、私が学びに集い、セミナーの時間の中で心にしっかりと感じ入ったことでした。だから、私は自分の中の田池を殺すというエネルギーを徹底的に出させていただきました。出してきました。どんなにしても真実を自分に伝えたかったからです。田池を殺すというエネルギーがどれほどすごいエネルギーであるか。そして、それが本当に温もりを伝えてくれることを心で知ったのです。

私は温もりでした。私は喜びでした。心に広がる思いを、はっきりと自分の中に伝えることができます。だから、私はこれから250年に至る時間、真っ直ぐに突き進んでいくだけです。

その間、肉は必要ありません。その間、私の中は、本当に喜び、喜びの時間です。250年後、アルバートの肉と出会い、私はその喜びを爆発させていくことは、もうすでに私の中では現実のものです。

心の中にある喜びを今一度、しっかりと確かめ、私は今世の学びを、自分でやり終えていきます。

自己確立、独立独歩。心に秘めた自分との約束。自分に目覚めれば目覚めるほど、自己確立こそ、本当に喜びの道、ただそのように伝わってきます。

真実の方向へ心を向ける、合わせる、委ねる、生半可な思いで絶対にできないことを私は私に伝えてきました。だから、私は、自分の学びをする準備をしっかりと整えてきました。予定通りに歩いていることがただただありがたいです。ありがたいというか、予定通りに歩いてこそ、私は私をようやく本来の自分に戻すことができたのです。本来の自分を心で知る喜び、その喜びを私はこ

れからもただただ自分の中で広げていくだけです。

私に何かアドバイスをと聞きました。

田池留吉に委ねる瞑想をただただ続けていきましょう。と答えてくれました。 塩川香世

田池留吉の世界に委ねていく瞑想をただただ続けていきましょう。ただ続けていくんです。お伝えすることはすべて伝えました。あとは心の中に、私、田池留吉の世界をどんどん広げていくことです。あなたのうちに私、田池留吉を呼び、その中へあなたを受け入れてください。

ともに歩んでいこうと、喜びのあなたがあなたを受け入れてください。いわゆる自己供養です。

自分を受け入れていけばいくほど、心が広がり、心に温もりと優しさが広がっていくことは、もうすでにご承知の通りです。それをあなたは淡々と 250 年に至る時間、やっていくだけです。

時が来れば、私の肉と出会います。そこであなたはあなたの肉をしっかりと出して、自分のエネルギーを確認して、喜びとともに私、田池留吉、アルバートとともに歩いていくことをあなたの肉を通して確認できるのです。250 年、300 年の時間、ともに喜びで歩んでまいりましょう。

次元移行後のあなたの心を感じます。あなたもあなたを感じているでしょう。

ありがとうございます。今世の肉はどのように存在していいか
いいのでしょうか。

はい、今もお伝えしたように、あなたはあなたの内で田池留吉の世界に委ねる瞑想を淡々とやっていく、そんな肉の時間を過ごしていってください。あとのこととは、肉は流れる今までいいんです。心に出てきた思いを、あなたはしっかりと見つめることができます。見つめて、温もりへ喜びへ帰していくことができます。

瞬時にできるんです。ふっと、あなたが田池留吉、アルバートと思えば、ふと喜びへ温もりへ帰っていく。そこに時間はかかりません。

田池留吉、アルバートと別に呼ばなくていいんです。あなたの中にふとと思いを向ける、それだけでいいんです。

自己供養をするために、肉を持ちました。その肉を離し、そしてまた肉を持つ。その時間の中で、あなたの中はどんどん変わってまいります。

あなたの意識の世界をしっかりと感じ信じ、そして、ともに歩んでいく喜びを肉を持ちながら味わってください。

ありがとうございます。ありがとうございます。心に感じます。
喜びを味わっています。

田池留吉、瞑想を続けていると、私は宇宙を呼んでみたくなり
ます。だから、いつも宇宙を思っています。宇宙を思っている私

は本当に幸せなんです。宇宙を呼んでいる私は幸せです。宇宙と思うだけで幸せです。 塩川香世

心を広げていけることが嬉しいです。心に語ってくる。ああ、
私に語ってきます。私の中に語ってきます。

心を広げて、広げていきます。私はもっと、もっと広げてい
きます。語ってくれることが喜びです。ともに帰れることを伝
えていけることが喜びです。宇宙へ喜びを流していけることが喜び
です。田池留吉、ありがとうございます。ありがとうございます。
田池留吉、ありがとうございます。

宇宙が喜んでいます。ありがとうございます。肉を持って私は
心に喜びを感じられる。ああ、嬉しい、お母さん、ありがとうございます。

「田池留吉にありがとうございます。ただ伝えたい、田池留吉、お母さん
にありがとうを伝えたい」と宇宙が語ってくれるんです。

「田池留吉にありがとうございます。ああ、お母さんにありが
とうを伝えたい。肉を持てなくともお母さんにありがとうございます
伝えたい。こんなにこんなに嬉しい喜びの波動を、私達は受けてい
ます。はい、こんなに嬉しい波動を受けています。波動の世界がす
べてでした。私達は喜びで、喜びでこの次元を超えてまいります。

どうぞ、ともに、ともに学ばせてください。心を語れることが
喜びです。」

自己供養は喜びです。自己供養を続けながら、250年、300年を迎えます。田池留吉、私は私にそう伝わってきます。

塩川香世

肉を持っている以上、寂しい心も苦しい心も出てくるでしょう。しかし、それをあなたは一つ、一つ、喜びへ温もりへ帰していけることをしっかりとやっていけるんです。あなたの温もり、喜びを感じている心から、喜びのエネルギーが流れていきます。

寂しい心は、肉を持っていれば出てきます。しかし、喜びの心で寂しい心を包んでいける術をあなたは心得ています。寂しい、寂しいと落ち込んでいくあなたではありません。

寂しいあなたにもありがとう。嬉しいあなたにもありがとう。苦しいあなたにもありがとう。すべてをありがとうに変えていけるあなたの中。

私は本当に喜びのあなたを感じています。あなたの心に伝えます。

田池留吉、アルバートの世界を心に広げられる喜び、その喜びをどんどんあなたの中で、広げていってください。ただただ心を向けるだけです。心を委ねていける喜び、あなたの中に伝えます。

田池留吉に聞きなさいと心の中に伝えました。あなたが心を向ける喜びを感じます。どんどんあなたが喜び溢れるあなたへと進んでいくことが、あなたを本来の自分へと帰す道だとあなたは知っています。

ただただ嬉しい、ありがとう、ありがとう、ありがとう、と心を向け、あなたはあなたを見つめていくだけです。

心を見つめていけばいくほど、喜びが広がっていきます。あなたの世界は広がっていきます。

「ありがとうございます。ありがとうございます。優しいあなたに会えてよかったです。温もりのあなた、喜びのあなたを心で知り感じ広げていく、そのような道にあなたが戻れたことが最高に幸せです。」

母が伝えてくれました。母は伝えてくれました。たくさんの母が伝えてくれました。

「あなたの中に喜び、温もりがあることに気付けたことを、私達はどれほど喜んでいるか。私達を呼んでみてください。田池留吉、アルバート、そして、母を呼んでいきなさい。」

母は、いつも、いつも伝えています。心よりありがとうございます。がどうと、あなたに伝えています。

自分（意識）を学ぶために、自分（肉）を用意した私達でした。

塩川香世

田池留吉です。はい、自分（意識）を学ぶために、自分（肉）を用意したこと、できしたこと、ただただ喜んでいってください。喜びです。喜びしかありません。自分（意識）を学ぶために、今の時間と空間があること、それは本当に喜びなんです。

しっかりと自分を見つめられること、それがどれだけの喜びであるか、心に感じてくればくるほど、瞑想は楽しく嬉しくありがたいものとなってきます。

瞑想の中で、私と語ることが楽しく嬉しくなってきます。

田池留吉、アルバートと呼んで、本当に心をしっかりと向けていける喜び、心をしっかりと合わせ、委ねていける喜び、ただただその喜びが伝わってくると思います。

田池留吉、闘いと破壊のエネルギーしか流してこなかった宇宙に、今、私は本当にこの喜びを伝えていきます。本当にありがとうございます。

田池留吉の肉を通し、真実の世界と出会わせていただいたこと、心よりありがとうございます。

ありがとうと言えば、ありがとうが返ってくる瞑想。ありがとうと思えばありがとうが返ってくる瞑想。そんな瞑想を日々続けていけることが幸せです。

自分に誠実にありたい。自分に誠実でありたい。ただそれだけです。誠実に自分と向き合いたいという思いに素直になれることが幸せです。

だから、ありがとうと言えば、ありがとうが返ってきます。それが私だったんです。自分が自分を一番嫌ってきたけれど、今、自分が本当に愛しいです。心からありがとうと私をしっかりと抱きしめて、ただただありがとうと伝えていきます。

悲しみや苦しみなど本当は何もなかったんです。ただ、本当の自分を忘れ去ったことが、悲しくて苦しいことでした。本当の自分を知らずに、優しさを求め、温もりを求め、喜びと幸せを追い求めてきた愚かな私に出会わせていただきました。

「田池、お前など目障りだ。消えてなくなれ」。私が私に向かって散々喚き散らしてきた私に、今、私は本当にありがとうございましたと心から言えます。だからこそ、私は、田池留吉、アルバートとともに、250年、300年、いいえ、次元移行後も、永遠に存在していけることを心に感じています。私は変わりました。私の意識の世界は本当に変わったのです。

田池留吉、闘いと破壊のエネルギー、すごい、すごい、凄まじいエネルギーを感じました。しかし、私の中は空っぽなんです。とても軽いんです。

そして、嬉しい思いが飛び出します。嬉しい、嬉しい。

ああ、本当に苦しい、すごいエネルギーだけれど、そういう思いではなく、ただただ嬉しい、嬉しい、嬉しい。本当に嬉しい。嬉しい。それだけです。

ああ、本当にすごいです。田池留吉に心を委ね、その思いを心に感じていけば、闘いと破壊のエネルギーは本当に見事に変わってきました。

凄まじいエネルギーが、喜びへ変わっていく様を私は心で感じます。

心が空っぽなんです。軽いんです。そうなんです。本当に軽いんです。そして嬉しい、嬉しい思いが湧き起こってきます。

ただただ嬉しい、嬉しい、ありがとうという思いです。

ああ、本当に、今世こんな喜びの世界を感じさせていただいています。

思えば思うほど嬉しいです。

闘いと破壊の中で自らを滅ぼしてきたけれど、ああ、そうじゃなかった。そうじゃなかった。ああ、このエネルギーこそ、次元移行へまっしぐらに進んでいくエネルギーです。喜びへと変わっていくんです。温もりへ本当に真実の方向へ変わっていけるんですね。嬉しいです。

ああ、この心には何もありません。ただただ空っぽな中に、嬉しい、嬉しい思いが広がっていきます。 塩川香世

自分（意識）を学んでいけるように成長させていただいたことが嬉しいです。 塩川香世

自分（意識）を学びたくとも学べなかつた過去。そして今、私は自分（意識）を学べる喜びの中にあります。

田池留吉の世界に心を全託することを知つたからです。すごい世界です。波動の世界、真実の波動の世界を心で知つたから、自分（意識）を学べる喜びが心に広がっていきます。

そんな私に成長させていただきました。自分（肉）に埋没してきた私が、ようやく自分（意識）を学ぶ喜びを心で感じることができた今という時です。

ありがとうございます。ありがとうございます。

田池留吉、私は、このように、ずっとずっとこれからも自分で勉強ができる。それが嬉しい。自分（意識）を知っていく

喜びが心に広がっていきます。

自分（意識）を学ぶことがこんなに嬉しい。ああ、本当に自分のエネルギーを感じていくことが嬉しいです。

田池留吉です。どんどん勉強していく人は学んでいってください。喜びで、喜びでしてください。

私、田池留吉とともに学んでいきましょう。

私は、そのようにずっと、ずっと、20年以上前から呼びかけてきました。

私、田池留吉に心を向けるということが、どれだけの喜びであるのか、私はそのことを一人でも多くの人が心で本当に感じていただきたい、ただその思いだけで今もいます。

どうぞ、どうぞ、どんどん学んでいってください。田池留吉の肉を見ていては絶対に分かりません。田池留吉の世界は心で感じる世界です。話を聞いて納得する世界ではありません。

たくさんの意識達が待っています。心を広げて喜びで受け入れていってください。受け入れていける喜びをあなたの心から流していきましょう。

はい、宇宙へ、宇宙へ流していきましょう。私はあなたの心の中で、そのように伝えます。

宇宙を思うとき、あなたの心の中から喜びのエネルギーがどんどんどんどん流れていきます。本当に嬉しい、嬉しい喜びが流れています。はい、それを喜んで、喜んでやっていってください。

ともに学んでいけることが喜びです。ともに歩いていけることが喜びです。私はいつも、いつも、そのように伝えています。

自己供養日誌を書いてみませんか。

宇宙と呼べば喜びが返ってくる。私の自己供養のバロメーターです。私の自己供養は、順調に渉っています。喜びが喜びを呼んでいきます。喜びが喜びを大きくしていきます。ありがとうございます。 塩川香世

田池留吉、アルバートと思えば私は嬉しいです。たくさんの宇宙達を感じるからです。その宇宙達とともに私は、田池留吉、アルバートを語ります。嬉しいです。異語で語り合えることが嬉しいです。

ともに帰ろうと呼びかけることができるのが嬉しいです。返ってくる思いは、ただただありがとう、嬉しい、ともに、ともに帰ろう、帰ろう、そんな思いが広がっていきます。

「自分に何を伝えることができますか」と田池留吉が尋ねます。
「私は温もりを喜びを伝えることができます。ともに帰れる喜びを伝えることができるんです。温もりの世界へ帰れる。私達は喜びと温もりの中にあります。それをはっきりと伝えることができます。」

私は田池留吉、アルバートにそう答えました。

はい、このように瞑想をしていると、私の胸のあたりに塊が感

じられます。そのほうに心を向けてみます。

田池留吉、アルバート。はい、優しい思いを向けています。これが私の心に感じた喜びです。私は心を感じています。苦しいことはありません。喜びなんです。語ってくれてありがとう。私に語ってくれてありがとうございます。私は伝えます。

「私達は喜びです。私達は温もりです。ともに、ともに歩いてまいりましょう。私達は次元を超えていくのです。

はい、そうです。あなた達もその準備をしてください。」

私はそのように伝えていました。どんどん私に語ってきてください。苦しい、苦しい中から、ようこそ、ようこそ、と私はあなた方を迎えます。心を開いて迎えます。

私は田池留吉、アルバートを信じています。だから、私はとても、とても嬉しいです。語ってくれることが嬉しいです。心の中を語ってくれることが嬉しいです。喜んで受けていきます。

もう一度、私の胸のあたりに思いを向けてみます。

ありがとうございます。ありがとうございます。心が広がっていきます。ありがとうございます。優しい、優しい思いが伝わってきます。はい、私達も嬉しいんですね。はい、ありがとうございます。

ご自宅で、皆さん瞑想をなさっておられると思いますが、どう

ぞ、こんな瞑想を試みてください。**我流の瞑想**はお止めください。

塩川香世

まず、丹田呼吸をして、あなたの眉間に意識を向ける。それは、丁度、目を閉じて中の目を開いた状態の瞑想です。そして、そこからすっと意識をあなたの中に向ける。田池留吉の世界はあなたのの中にあります。その田池留吉の世界に心を向ける、合わせる、委ねる。この一連の動作を自分の中で試みる。

あなたが、田池留吉の世界に心を向ける、合わせる、委ねることができないと感じるならば、なぜそう感じるのか、それを自分で学んでいってください。自分の心は、その回答を用意しています。それを受け入れていくことが、自分に素直になるということです。

私は、目を閉じて中の目を開いた状態になれば、自分の培ってきたエネルギーを心に感じます。しかし、それはもう決して苦しみではないのです。それが嬉しいんです。そのエネルギーを感じた途端に、私の中は、どんどん広がっていきます。そして、中から温もりがどんどん出てきます。そのエネルギーは、私の中の喜びと温もりの中にどんどん吸収されていく感覚で、そして心はただただありがとう、ありがとうの思いの中で、どこまでも、どこまでも広がっていきます。こんな幸せはないと思います。そして、その幸せな心で、私は宇宙を呼びます。喜びだから、宇宙に自然と私の思いは向いていくんです。果てしなく広がっていく中

で、宇宙に思いを向けていける喜びが心に溢れてきます。何とも言えない幸せ感があります。

どうぞ、あなたも、ご自分の心で実践していってください。実践していけば分かります。この瞑想を淡々と自分の中で繰り返し、続けていけばいいんだということが分かってきます。確かに心に響く世界、その波動を心に受けていれば、もう何も迷うこともないし、何をどうすることも要りません。ゆったりと伸び伸びと瞑想ができる時間と空間に自分があることに、ただただ感謝しかないう思います。

ゆったりと伸び伸びと瞑想ができる時間と空間、本当にこれを与えられているというか用意していることほど幸せはないです。

肉、形の世界には、肉を楽しませ、心を和ませる部分も確かにあります。しかし、それはほんの一時的なものです。

それによって、ああ、幸せだとか、満足、満足という思いが、ずっと続いていくものではありません。すぐに消えていきます。

自分の中に思いを向ける瞑想の醍醐味を味わっていったならば、そんなものは、本当に吹けば飛ぶようなものでしかありません。

形という空間に漂いながら、しかし、実はしっかりと心を一点に向いている喜びが自分の中に確立している、このような状態で肉の時間を過ごしていくことが幸せなんです。

意識の世界の素晴らしさを知っているから、私は肉では何も求めません。求めなくても、もう私はすでに充足しています。

肉の生活に何の不安もないし、悩みもないし、憂いもありません。

私は私の意識の世界のすごさ、素晴らしさを知っています。そして、これからもその世界をどんどん知っていきます。

自分の書いたシナリオは本当にすごいものでした。

自分にありがとう、本当にありがとうが言える。地獄の中から蘇ってきた自分の優しさに、私はいつも触っています。 塩川香世

第7回UTA会に向けて、**自己供養日誌**を書き始めていますか。**正しい瞑想**を毎日していますか。自分の心の向け先が間違っているれば、その結果は、必ず、対人関係や健康に表れます。しかし、それをチャンスとして、更に、自己供養を真剣に、真面目にしていくことが肝要です。毎日毎日、自己供養を続けてください。

自己供養ができない、やらない方は、自分に大変冷たいと心得てください。心が貧しく、愛が乏しいと思ってください。自己供養は、眞の愛に目覚め、愛の放射塔として仕事を進めていく道です。

本当に心の針を田池留吉に向け、合わせ、委ねていく道にあるならば、どんどんどんどん自己供養が摃っていきます。

自己供養を通して、自分の中の喜びと温もりが湧き出てくるのが分かります。

瞑想が本当に嬉しいです。楽しいです。瞑想をする中で、自分がどんどんどんどん解放されていくのが感じられます。

宇宙へ、宇宙へ喜びを伝えていけることを感じます。

宇宙が広がっていく、宇宙へ喜びを伝えていける、それを感じて本当に嬉しい瞑想の時間を持てます。

田池留吉、アルバートに心を向ける、委ねる、それがすべてです。

本当に自分を委ねていけば、自分の中が自然に、自然に広がっていきます。はい、温もりを、喜びを感じていき、どんどんどんどん広がっていきます。それが私の瞑想の時間です。

だから、瞑想はとても嬉しいです。喜びです。自分の世界、自分と出会える、本当の自分を感じるからです。

自己供養がどんどんどんどん摵っていくのを感じます。

はい、私の中で、自己供養日誌を記しています。私の中は喜びです。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。本当の自分に、本当にありがとうございます。私は、今世、ようやく、その自分を心に感じました。

これから250年へ続く時間、私はこの思いをずっと、ずっと広げてまいります。私の自己供養、愛の放射塔として宇宙へ喜びのエネルギーを流していく道筋です。

はい、それが私の道です。淡々と一步、一步、着実に歩みを進めてきたこれまで、そして、これからも歩みを進めていける私です。私は私の中からそのように伝わってきます。私の意識の世界よりそのように伝えてきます。肉は、その喜びとしっかりと足取りを瞑想で感じていきなさいと、伝えてきます。 塩川香世

最後は瞑想です。瞑想でしか波動の世界は分かりません。

しかし、その中で、田池留吉、アルバートと呼ぶその思いが大切なんですね。

どんな思いで、田池留吉、アルバートを呼ばうとしているか、心を向け、合わせ、委ねようとしているか、そのところが一番のポイントだと思います。 塩川香世

田池留吉です。その通りです。皆さん、瞑想ですよ、瞑想ですよと言われば、瞑想をします。瞑想をする時間を増やします。

その一方で、田池留吉、アルバートと呼ぶその思いを自分でしっかりと見つめていません。その思いの中に、他力のエネルギーがまだまだしっかりと含まれているのを放置しています。他力のエネルギーで、田池留吉、アルバートを呼び、そのほうに心を向け、合わせ、委ねようとしているかもしれません。

もちろん、自分では、そのようにしているつもりはないかもしれません。いいえ、ないでしょう。自覚はないと思います。

瞑想は瞑想でも正しい瞑想をしましょう。

忘れてはならないことは、自分の中の他力のエネルギーをしっかりと心の中で確認しながら、瞑想をするということです。

眉間に意識を向ける、つまり目を閉じて中の目を開く、そして、田池留吉の目を見る、こうしたとき、まず心に感じ広がってくるのは、ブラックのエネルギーです。そのエネルギーをまず自分の中でしっかりと確認できるあなたであるかどうかです。

それをいい加減にして、田池留吉、アルバートと呼んで、喜びだ、温もりだと言ってみても、それでは時間が経てば、ひっくり返る

のです。ひっくり返る喜びや温もりなど、決して田池留吉、アルバートの世界ではありません。

田池留吉、アルバートと呼ぶ心をしっかりと確認しながら、瞑想をしていきましょう。喜びの思いだけで瞑想を続けていきましょう。

私から質問です。

瞑想をする目的は何ですか。何のためにあなたは瞑想をしていますか。

私は、以前にも自分の瞑想が変わってきたことを感じた時期がありました。これからの私の瞑想は、さらに変わってくると思います。何か心に感じるものがあります。本当にすごいものだと私は予感します。予感的中といいくでどうか。 塩川香世

田池留吉です。私が肉を持っている時間はあと僅かです。その間、私は、この心の中にあるものをすべてあなたに託していきます。もちろん、肉を置いた後も、私はあなたと通信をしっかりとしていきます。

当然、あなたの瞑想、あなたが瞑想をする中で感じる世界、その波動の世界はまた一段と変わってくると思います。

その勢いというか、それがあなたの中で増すということでしょう。

それは、すなわちあなたのバージョンアップです。

あなたの心が私の世界をより正確にとらえることができてくるのです。

それをあなたの言葉で言うならば、瞑想の内容が変わってくるということでしょう。

私はいつもあなたに、伝えています。通信しています。波動を流しています。

あなたがそれをどの程度キャッチできるか、それがあなたのバージョンアップになってきます。

それをあなたは予感的中と表現されました。はい、それはその通りだと思います。あなたは、益々、田池留吉の世界、アルバートへ心を向ける、そのことをやってまいります。

これから数年、本当に楽しみにしています。私の肉を置いたあと、しっかりとあなたが、あなたの世界で、私と通信できることを確実なものとしていくこれから何年間という時間、ともに、ともに、喜び、喜びで進んでまいりましょう。

私はあなたの中で、いつも伝えています。

「あなたの中で田池留吉を呼び、その波動の世界を心でしっかりと深く、深く感じていきなさい」。私からのメッセージでした。

私に、あなたの心を向け、合わせ、委ねてください。これは、本来の、自然な姿、状態です。委ねることは、喜び、幸せ、ありがとうございます。委ねることが、私はあなた、あなたは私、一つを行じることです。もちろん、欲と私とは絶対に合いません。

私がお伝えしている世界は、他力の世界とは全く相容れないも

のです。学びの動機が間違っていれば、この学は一步も前には進めません。他力の神々をいまだにつかんでいる人は、私に委ねることはできません。諸々の苦しみ、悩み、病の原因はここにあると言っても過言ではないかと思っています。

では、今日も、一、二、三で行きましょう。一は、母親の反省・0歳の瞑想・母親の温もり、二は、田池留吉に心を向け・呼び・合わせ・委ねる、三は、自己供養。焦らず、^{たゆ}弛まず、真摯に、どうぞ。

7月のUTA会は、一、二、三の習得、真の愛の覚醒とまいりましょう。あなたの来世、死後の自分、あなたの闇・過去世そしてあなたの肉体細胞、みんな一堂に集まって学ぶことにしよう。

肉のあなたは、赤子のような素直な心を忘れないで。きっと、いいかも。

私には私の道があります。予定があります。今世、どの程度意識の世界を進んでいくかという予定があります。それは、すべて最終時期を見据えてのことです。

私は、その自分の予定した道、自分に出てきた課題と真剣に取り組んできたし、これからもその姿勢は何ら変わることはありません。

その思いが私の中にしっかりと伝わってくるのです。自分の中に心を向ければ、私が私に伝えてきます。その予定した道を、本

本当に予定通りに進んでいっている喜びを伝えてきます。

そして、田池留吉の肉がある間、なくなった後、私は、どのように学んでいくか、その計画も自分に伝えてきます。

だから、私は何の憂いも悩みも何もないんです。私の中には想定外ということは起こってきません。つまり意識の世界には想定外のことは何もないんです。

私がこれからどのように存在して、どのように自分で学び、そして250年後の肉を持つか、また、肉を持ってから、どのように自分の歩みを進めていくか、もうすでに私の中では確定済みのことです。

それは、私の中が、次元移行を目指していく思い一色で、これから的时间を経ていくのだと伝えてくるからです。

次元移行はすでにもう決まりきった意識の流れです。

その流れに従って、形の世界は物の見事に崩れていくのも、決まりきった出来事です。

崩す愛のエネルギーが、力強く意識の世界に流れ出しているのです。

それはすごいエネルギーです。愛に目覚めていくエネルギー、250年という時間、放射し続ける準備を、今、着々と整えていけばいいだけです。

だから、瞑想は楽しいです。瞑想は喜びです。どんどんそのエネルギーを宇宙に流していくことを感じられるからです。

田池留吉、私の世界に心を向けたとき、このような思いが上がつてきました。

私は、中からの思いが伝わってきました、私が私に語ってきました、そのように表現をしていますが、それはどういうことなのでしょうか。 塩川香世

あなたのなかが語っているんです。あなたの中は、田池留吉、アルバートとともに歩いていく意識であるということを、肉のあなたに語っているんです。肉のあなたはその中の思いを聞くことにより、ああ、そうだ、そうだと納得していると思います。

あなたの中の意識達、すなわちあなた自身は本当にすごいんですよ。

田池留吉、アルバートを待ち続けてきたんです。本当に心の底の底から待ち続けてきて今があるんです。今世があるんです。すべてを準備してきました。すべてを整えてきました。そんなあなたの思いが、今の肉を持たせ、今のあなたがあります。

あなたはそれをしっかりと心に感じているはずです。

だから、あなたのなかからすごいエネルギーが流れてくるんです。波動です。はい、この道を真っ直ぐに行く。ただひたすら真っ直ぐに突き進んでいく。その思いが、あなたのなかから飛び出でてきます。

瞑想をすれば、あなたの中に、喜びと温もりが心から湧き起こってくるでしょう。

あなたが宇宙と呼べば、宇宙に思いを向ければ、すごい思いを心に感じると思います。一斉に、田池留吉、アルバートを呼んでいるあなたのなかを感じると思います。それが波動となって、エネルギーとなって宇宙へ流れしていくんです。宇宙は本当に待ってい

ることをあなたは知っています。心の中で知っているんです。どうぞ、その思いを、広げて、広げていってください。瞑想は樂しいはずです。瞑想は喜びのはずです。瞑想をすればあなた自身を感じるからです。

田池留吉、アルバートと呼べば、心が広がっていくことを何度も、何度も体験していってください。あなたはどんどん自分で学んでいけます。

なぜならば、あなたはあなたの内で、田池留吉、アルバートの意識がしっかりとあなた自身を包んでいるからです。温もりと喜びの中にあるあなた、田池留吉、アルバート、あなたの世界を心でどんどん感じる瞑想の時間、喜んで、喜んで持っていってください。どんどん心を広げていくんです。広がっていきますよ。どんどんどんどん広がっていきます。

もうそれは言葉にはならない。ただただ波動、波動の世界です。

「何年も学んできて、いまだに苦しいとか、何でこうなるのとか、そんな思いだけが心から出てくるなんて、私には到底信じられません。何年も学んでこられたならば、今頃は学びをしてきてよかったです、ありがとう、嬉しいです、私は喜びですと、本当に心の底から言えるのではないでしようか。お母さんに産んでいただいて、今世、このように学べるチャンスをいただいて、それ以上に何を望んでいるのか分かりませんが、心の中から嬉しい、嬉しいと湧いてこないのでしょうか。田池留吉、アルバートと呼べば、嬉しい、嬉しいと心が広がっていくはずです。

何年も学んできて、今、まだそういう状態になれないのは、それこそ、他力の神々と一体化しているあなたがそこにあるからです。もし、あなたがそうであれば、本当に根底から見つめ直してください。残された肉の時間、すべてを投げ出して見つめ直しても足らないかもしれません。もっと誠実に、もっと真剣に、学んでいきませんか。」

読んでどうでしょうか。

あなたは、自分に甘すぎませんか。学びを軽く、軽く見ていませんか。私は、あなたが後悔するような学び方はしないように心から望んでいます。

田池留吉、これから 250 年の間の時を思い、瞑想をしました。心の中に、たくさんの、たくさんの意識達の思いが伝わってきます。

250 年に至る時間、私はこの思いを心に伝えます。ありがとうございます。

250 年という地球時間は、私の中では、ほんの一時です。

はい、今、私はそのほうに心を向けて瞑想をしています。

今、私の中に語る喜びをこの意識達にすっと、すっと伝えていきたいです。 塩川香世

ああ、私は心の中に田池留吉、アルバートを呼び続けています。ありがとうございますと呼び続けています。今、心の中に喜びが伝わってきます。

嬉しいです。嬉しいです。お母さん、ああ、お母さんが私に肉をくださるまでの間、私は心の中で田池留吉、アルバート、お母さんを呼び続けます。

そうしたとき、私の中に交信してくる宇宙達、意識達を感じ、ともに、ともに喜びを伝えていけるのです。私はその世界を今、心に感じています。

これは私の死後の世界です。

死後の世界を、今、心に感じています。私のこの肉体を離したあの思いを感じています。

私はこの喜びの思いとともに、存在しています。存在し続ける私の心から、喜びのエネルギーが流れていきます。

宇宙へ、宇宙へ喜びを伝えています。250年後の肉を持つ間、私は母を呼び続けます。母の思いを感じ、心に、田池留吉、アルバートを呼び続けます。

呼んで、呼んで、ともに帰ろうと、宇宙へ思いを流していける。瞑想の中で、はっきりと感じました。

そんな瞑想が今日の瞑想でした。嬉しいです。嬉しいです。

田池留吉、瞑想は量から質へ変化するんですね。私は、最近、本当にそのように感じます。本当にそうなんですね。 塩川香世

田池留吉です。そうです。心を田池留吉の世界に向け、委ねていく度合いが深くなってくれば、瞑想は量から質へ変化していきます。深さが変わってきます。あなたが心の中で感じている通り

です。瞑想が変わってきます。どんどん変わってきます。

瞑想で感じる世界が変わってくるんです。ふっと向ければ、あなたの心の中に伝わってくる田池留吉の世界、その波動のすごさ、広さ、温かさ、喜び、それがすべて厚みを増してくるんです。

それが、瞑想は量から質へ変化していくということです。

あなたが最近、心で体験している通りです。瞑想をする時間の中で、本当にすごいとあなたは感想を持たれていると思います。

本当にすごいんです。田池留吉の世界を心で知っていくことが、唯一喜びの道であることは、あなたの心が証明している通りです。

心を向け、委ねていけば分かります。本当にすごい世界、すごい波動の世界を今、心で学べる大きな、大きな喜びが伝わってくるでしょう。

私は、どんどんその世界を心に広げ、心に感じ、本当に田池留吉の世界の広さ、優しさ、温もり、喜びのすべてを感じていっていただきたいと思います。

しかし、瞑想を欲する人達がいます。瞑想をすれば何かを感じるだろう、瞑想をして素晴らしい世界を感じたいと、欲の思いを心に秘めながら、瞑想をすること、その愚かさ、危険性を、それぞれの心で知っていかなければなりません。

欲でどれだけ瞑想をする回数、時間を重ねても、波動は変わりません。心から流れていく波動は変わらないんです。要は波動です。波動の違いです。

瞑想の喜びを心で感じる。喜び、喜びで瞑想をする。ただただひたすら瞑想をする。喜びだから嬉しいから瞑想をする。

そうです。あなたの心の中で、私、田池留吉が語っているよう

に、その喜びを心に広げられること、それだけが本当に幸せです。肉を持って、このような学びができるということが、どれだけ幸せであるか、本当にそうでしょう。本当に幸せです。はい、ありがとうございます。田池留吉でした。

田池留吉、私はこれから250年の間、みっちり学び続けます。自分の中でしっかりと温かい温もりの喜びの自分を呼び続け、私は私の中を見続け、学び続けます。それは私の意識の世界では、想定内のことです。

そうでないと250年後、アルバートと出会ったとき、私の中が予定通りにスムーズに反応していかないからです。そして、そういうことはあり得ないから、みっちり学ぶということは想定内のことです。

だからこそ、250年後、私は私の肉を通して、素晴らしい意識の世界を心に広げ、そのエネルギーを宇宙へ爆発的に流していくんです。

ああ、この250年という時間、とても、とても大切です。私は心に感じます。

肉を持ち学ぶ今も、もちろん大切です。しかし、肉を離したあと、250年後の肉を持つまでの間の時間というか、それが私の心に響いてきます。

その間の私の学び方、存在の仕方、とても大きなものだと思います。

これがすべてを左右していきます。

私は、その間、たくさんの意識達と交信します。そして、その意識達が、250年後、私が肉を持ったとき、次元移行へすごいエネルギーとともに発信していくのです。本当に嬉しいです。宇宙を感じていけることが嬉しいです。

それを思うと、ただただ嬉しいです。心の中に、田池留吉、アルバート、ただただその思いが広がっていきます。優しい、優しい、限りなく優しい。どこまでも広がっていく。すごい、すごいエネルギーです。 塩川香世

田池留吉の世界に心を向け、合わせ、委ねる、いいえ、全託する瞑想、これは本当にすごいです。すごいとしか言いようがありません。

中からすごいエネルギー、波動が湧いて出てきます。こんこん滾々と湧いて出てきます。温もり、喜びを伴いながら、何かもっと力強いエネルギーを感じます。本当に尽きることのない温もり、喜びの世界です。

そして、それはすなわち、私自身です。私の世界です。波動の世界ってすごいということを体験する毎日です。

瞑想はすごいです。瞑想でしか分からない、心でしか分からぬ、本当にその通りです。

私は、この瞑想を何度も、何度も体験していくでしょう。時間にすればそんなに長くないです。しかし、ふっと心を向ければ、心の中からすごいエネルギーを感じます。それがたまらなく温かいのです。たまらなく優しいです。こんな中を感じれば、もう自

然に心が広がっていきます。

おいで、おいでと本当に心を広げて包んでいける、自然に心はそのようになります。

そして、どんどん自分の中を温もりと喜びで満たしながら、つまり、温もりへ喜びへ帰しながら、存在していればいいんだと、心の中に安堵感が広がっていきます。

自分に心を向けていく、心を中に向けていくことは、本当に喜びです。目を閉じて、心を向ければいいだけ。これで喜びが温もりが湧いて出てくるのだから、本当に意識の世界ってすごいなあとしみじみ思います。

本当にありがとう。こんな幸せな世界を伝えてくれた自分に本当にありがとうございました。

心を向ければ向けるほど、温もりと喜びのすごい波動の世界を感じます。

それは私の中で**他力の神々**を握っていないからです。

私の意識の世界は変わったのです。自分は本当に温もりと喜びのエネルギーだと心で知ったのです。

だから、田池留吉、アルバートと心から呼べるのです。**田池留吉、アルバートの世界に全託**できるのです。全託できる幸せと喜びが、さらに私の心に幸せと喜びを満たしてくれます。

私の中は何も遮るものはありません。心を向ければ、すうっと、本来の私の世界が心に広がっていきます。

瞑想はその温もりと喜びのすごい世界を感じる時間と空間です。

だから瞑想をする時間を持ちたくなります。瞑想をしなくてはとかという義務感、心の負担など、もちろんありません。

肉を持っている今、当然のことながら、肉体細胞の思いを感じながら瞑想ができるのが嬉しいです。そして、私の肉体細胞は、今現在、活性化されています。思いを向ければ喜びを伝えてくれます。ありがとうございます。

しかし、仮に、今、私の肉体細胞が病んでいたとしても、私は私に喜びを伝えてくれる肉体細胞の思い、そして、ありがとうを伝えてくれる肉体細胞の思いを、きちんと正確に受け止めることができます。

肉体細胞の状態如何にかかわらず、私は私に伝えてくれる肉体細胞の思いを喜びで受け止めます。そして、疲弊していれば、なおのこと、ますます肉体細胞に思いを向けていくでしょう。ありがとうございますと優しい思いを全開にして、肉体細胞の思いに応えていける自信があります。

田池留吉、アルバートの世界には喜びしかないからです。その世界、その波動、そのエネルギーを確かに感じ広げている心には、肉体細胞に恨み辛みの思いなど絶対に出てこないのです。肉体細胞があつての私でした。この肉があったからこそ、私は私の本来の思いを心に取り戻すことができたのです。 塩川香世

田池留吉、自分を信じる大切さ、喜びを波動で伝えてください。
塩川香世

田池留吉です。田池留吉に心を向けなさい。自分を信じる喜び、大切さ、その思いに心を向けてみなさい。田池留吉、アルバートを心の底から呼び、私の世界に心を全託してみてください。そういう瞑想をしてみてください。

今世、あなたはその肉をいただいて、ようやく、自分を本当に信じられる喜びを心で知り、広げていけるようになったのです。

自分を信じる喜び、嬉しさ、大切さ、分かりますね。

自分をないがしろにして、自分を見限ってきた冷たさ、その本当に暗い、暗い、真っ暗な中から本来の自分を心に取り戻し、その自分が本当の自分の姿、本当の自分だと心で信じられる喜びが、今あなたの心の中で脈々と流れている波動の世界です。

田池留吉、アルバートを心から呼び、心を全託していける喜び、それはあなたがあなたを信じられる喜びとなっていきます。

自分を信じられる喜びがどれだけの喜びであるか、そのエネルギーがこの宇宙に向けて、どのような仕事をしていくか、本当に心の中から喜びが湧き起こってきます。

波動で伝えてくださいと、あなたは言いました、

私は、今、あなたの心の中にその世界を伝えています。どうぞ、あなたの心で受け取ってください。しっかりと受け取ってください。

お母さん、ああ…、ああ…、私はこの世界にありました。私はこの世界に住んでいました。自分を信じられる喜び、ああ、そうでした。自分を自分で受け入れていける喜び。はい、心に伝わっ

てきます。

喜びを感じるのに、何も要らない。

幸せを感じるのに、何も要らない。

温もりを感じるのに、何も要らない。

この心があればいい。私の世界があればいい。私があればよかったです。今、私はそのようにはっきりと心で感じられます。

目を閉じて思えばいい。本当は目を閉じなくても、ふっと心を向ければいいだけ。私の心に伝わってくる喜び。

限りなく続く時間、空間の中に存在している喜び、ただただ喜びです。

何億年という時間、三次元に漂い自分を見失ってきた心に、やっと自分の帰る道を見つけ、喜びの一歩を歩み続けていることが、私の中で本当にゆったりとした安堵感となっています。

これは、言葉では到底表現できません。

なぜならば、私は私の帰る道、私自身を本当に心で知ったからです。

裏切り続け、見限り続けてきた自分を、本当に長い間待たせてしまった申し訳なさとともに、それでも信じて、信じて待ち続けてくれた自分に、本当にありがとうございましたと、ただそれだけを心から言えます。

こんな幸せな自分と出会えたことが、ただただ嬉しいです。

限りなく続く時間、空間の中に存在している喜びを、さらに、さらに深め進化させていくことを自分と約束しました。

ありがとうございます。 塩川香世

自然治癒力ということをテーマにして、一冊の本を書き上げてみたいという思いがあります。この思いは現実のものとなりますか。 塩川香世

田池留吉です。はい、あなたが書きたいと思うことは、みんな現実のものとなっていきます。形となっていきます。自然治癒力、大いに結構です。

自然治癒力ということを通して、田池留吉の世界、意識の世界、波動の世界、そのエネルギー、真実のパワーの世界をあなたの心でしっかりと感じ、その感じたものを文字にして、一冊の本に仕上げていってください。

命を長らえることだけが、私達人間の幸せではありません。

肝心なことは、その肉を持っている間、何に気付き、そして、何を自分の中に伝えることができるかです。それも、本当のことを探ることができるかです。

肉を持つ時間、許されているこの時間に、精一杯、自分に真摯に誠実に向き合っていける、そんな人生であれば、時間の長い、短いは関係ありません。本当に生まれてきたことを喜び、死んでいくことを喜んでいけるような生き方、存在の仕方、そういうところを、しっかりとあなた的心で感じているままを、自然治癒力をテーマに書いてみてください。

田池留吉、アルバートの世界に、本当に全託していけば、自然

治癒力はフルに發揮する、それは、本当にその通りです。

もっとも、その思いを全面的に受けていくことができないのは、それぞれの心に培ってきた他力の世界、他力のエネルギーを、いまだに握っているからです。

自分で自分を阻止していることに、今、病を得ている人達は、どうぞ、ご自分の心で気付いていただきたい。そして、それが、ほんの少しでも田池留吉、アルバート、真実の世界に心の針が合ってきたとき、どうなっていくか。そこに、いわゆる奇跡が起こってくるのです。しかし、それは奇跡でも何でもないのです。心の針を正しい方向に向ければ起こるべくして起こる出来事です。

では、なぜ、奇跡と思われることが起こってくるのか。そして、そのことにより、肉を持つ時間を少しでも延ばすことができれば、その時間をどのように使っていくべきなのか。

そういうところからも、田池留吉、アルバートの世界、真実の世界、波動、エネルギーの世界というものを、それぞれの心で感じていっていただきたい、そんな思いを私は持っています。

自然治癒力。

本来私達は喜びの世界を心に全面的に広げていったとき、それが本当に喜びのパワーとなって、その力を發揮していきます。

その過程をあなたの心で受けていってください。その喜びのパワー、喜びのエネルギーを心に受けていけるあなたです。その思いを心に受け止め、そして、その喜びの思いを文字にしていくんです。自然治癒力をテーマにした本、私は、いい本が出来上がると思います。

あなたはあなたの勉強をしていってください。

このことがまた一つ、あなたの中でお勉強となるならば、私は
これほど嬉しいことはありません。

そして、それは皆さんのお勉強にもなるということは、もちろん
言うまでもないことです。

(2011年6月30日掲載分まで)

意識の流れ あなたに語り掛けましょう 第1巻

2011年8月10日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2011 Printed in Japan